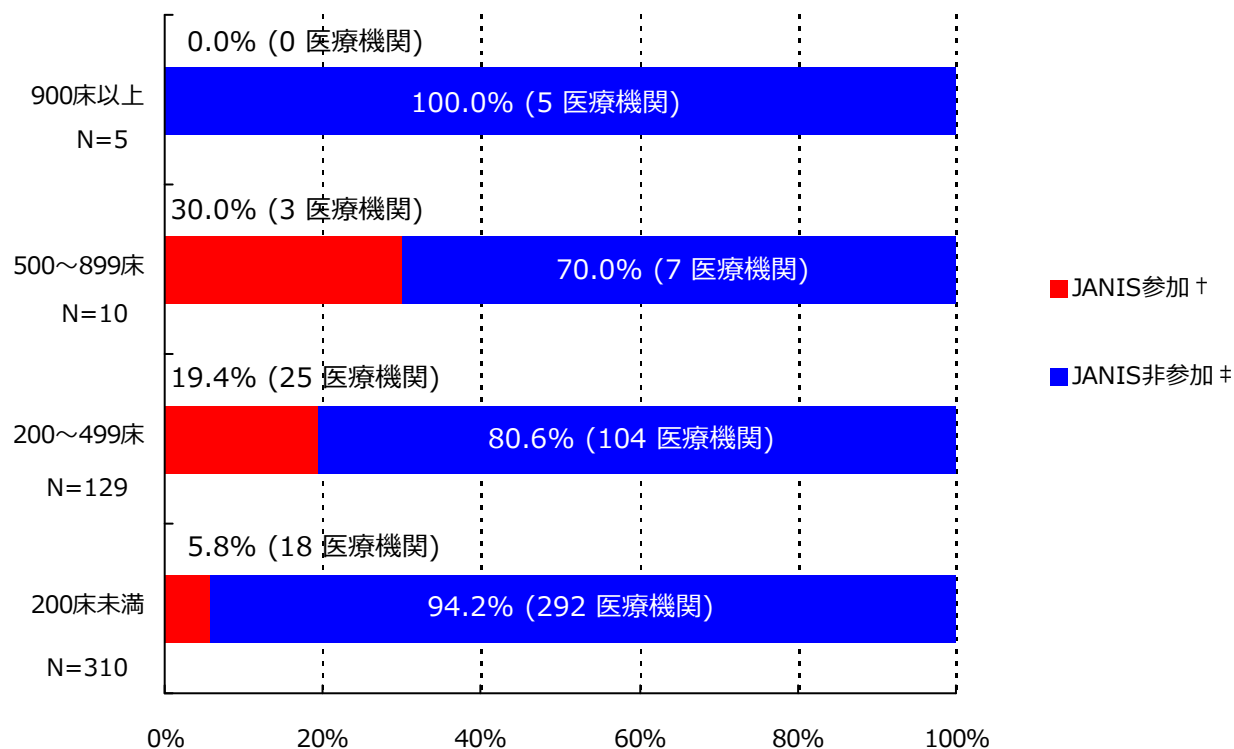


1. データ提出医療機関*数(46医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	5	0 (0%)
500～899床	10	3 (30%)
200～499床	129	25 (19.4%)
200床未満	310	18 (5.8%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	454	46 (10.1%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(福岡県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	44	193,770	10	815	4.21%	0.00 3.97 14.63
2021年	42	170,406	8	674	3.96%	0.00 3.02 13.89
2022年	46	191,418	10	700	3.66%	0.00 3.45 49.90

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	44	193,770	0	2	0.01%	0.00 0.00 0.11
2021年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2022年	46	191,418	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.07

(福岡県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	44	193,770	0	2	0.01%	0.00 0.00 0.11
2021年	42	170,406	0	5	0.03%	0.00 0.00 0.91
2022年	46	191,418	0	2	0.01%	0.00 0.00 0.36

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	44	193,770	0	1	0.01%	0.00 0.00 1.51
2021年	42	170,406	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.10
2022年	46	191,418	0	3	0.02%	0.00 0.00 1.85

(福岡県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	44	193,770	0	23	0.12%	0.00 0.00 0.63 -----
2021年	42	170,406	0	17	0.10%	0.00 0.00 1.02 -----
2022年	46	191,418	0	31	0.16%	0.00 0.00 0.74 -----

(福岡県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

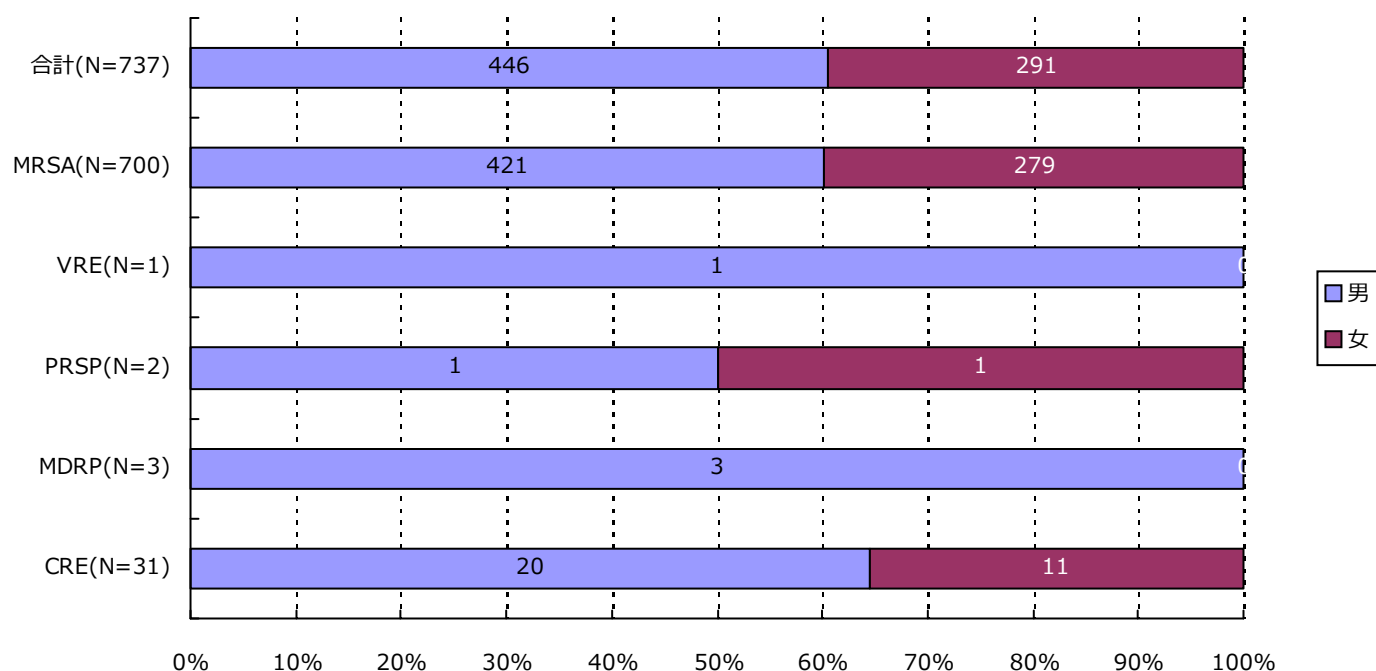
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

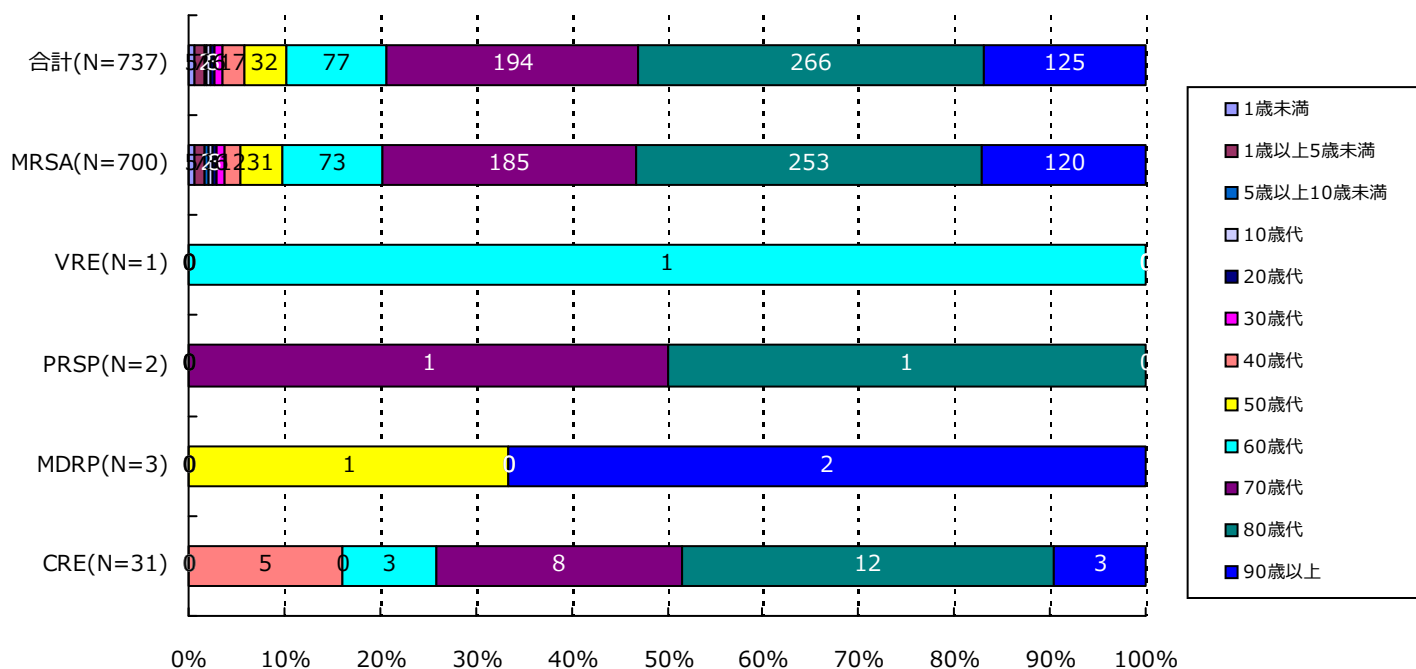
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



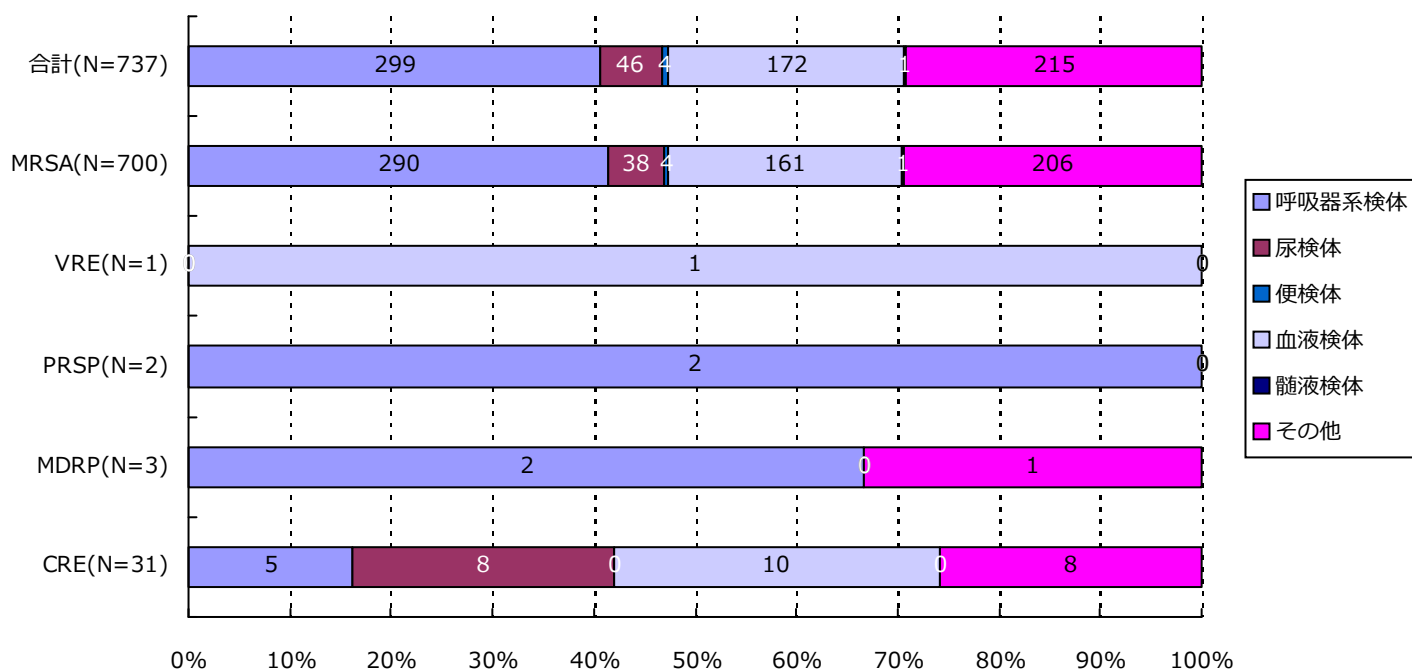
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	446 (60.5%)	421 (60.1%)	0 (-)	1 (100.0%)	1 (50.0%)	3 (100.0%)	0 (-)	20 (64.5%)
女	291 (39.5%)	279 (39.9%)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)	0 (-)	0 (-)	11 (35.5%)
合計	737	700	0	1	2	3	0	31

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	5(0.7%)	5(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	7(0.9%)	7(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	2(0.3%)	2(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	3(0.4%)	3(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	3(0.4%)	3(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	6(0.8%)	6(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	17(2.3%)	12(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(16.1%)
50歳代	32(4.3%)	31(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	0(-)
60歳代	77(10.4%)	73(10.4%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(9.7%)
70歳代	194(26.3%)	185(26.4%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	8(25.8%)
80歳代	266(36.1%)	253(36.1%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	12(38.7%)
90歳以上	125(17.0%)	120(17.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(66.7%)	0(-)	3(9.7%)
合計	737	700	0	1	2	3	0	31

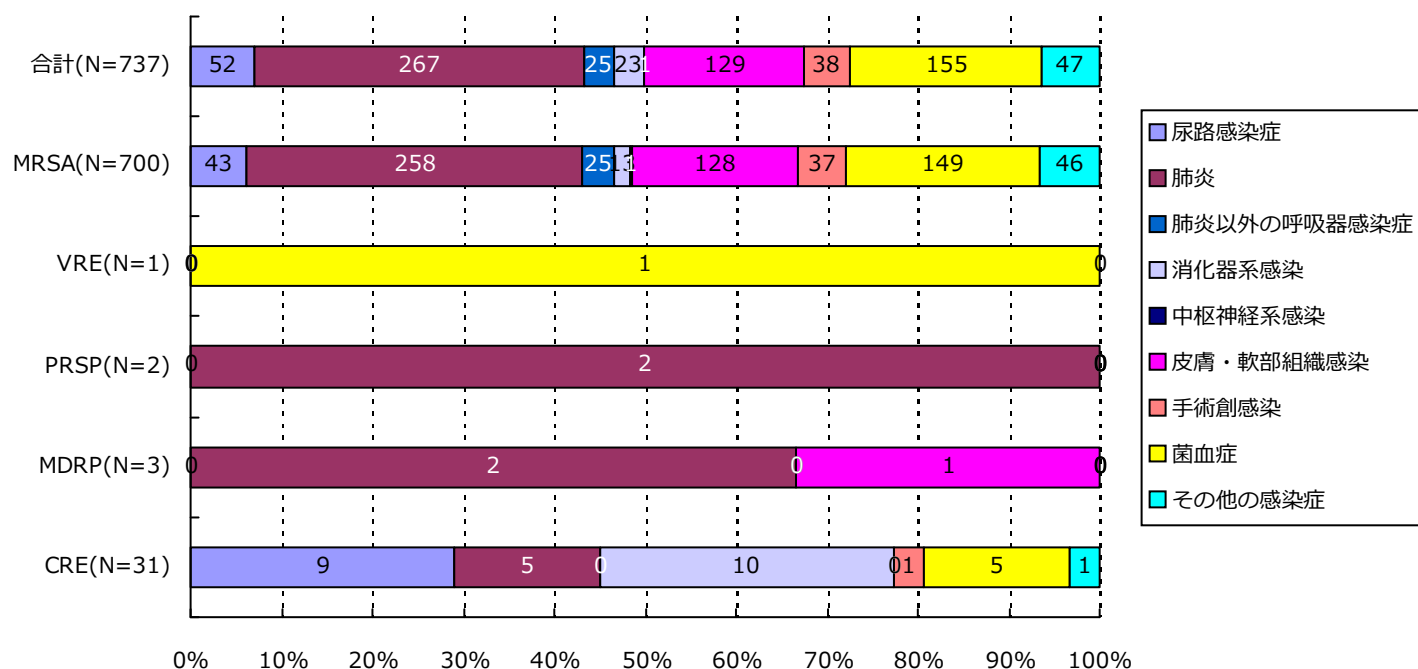
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	299(40.6%)	290(41.4%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	2(66.7%)	0(-)	5(16.1%)
尿検体	46(6.2%)	38(5.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	8(25.8%)
便検体	4(0.5%)	4(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	172(23.3%)	161(23.0%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	10(32.3%)
髄液検体	1(0.1%)	1(0.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	215(29.2%)	206(29.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	8(25.8%)
合計	737	700	0	1	2	3	0	31

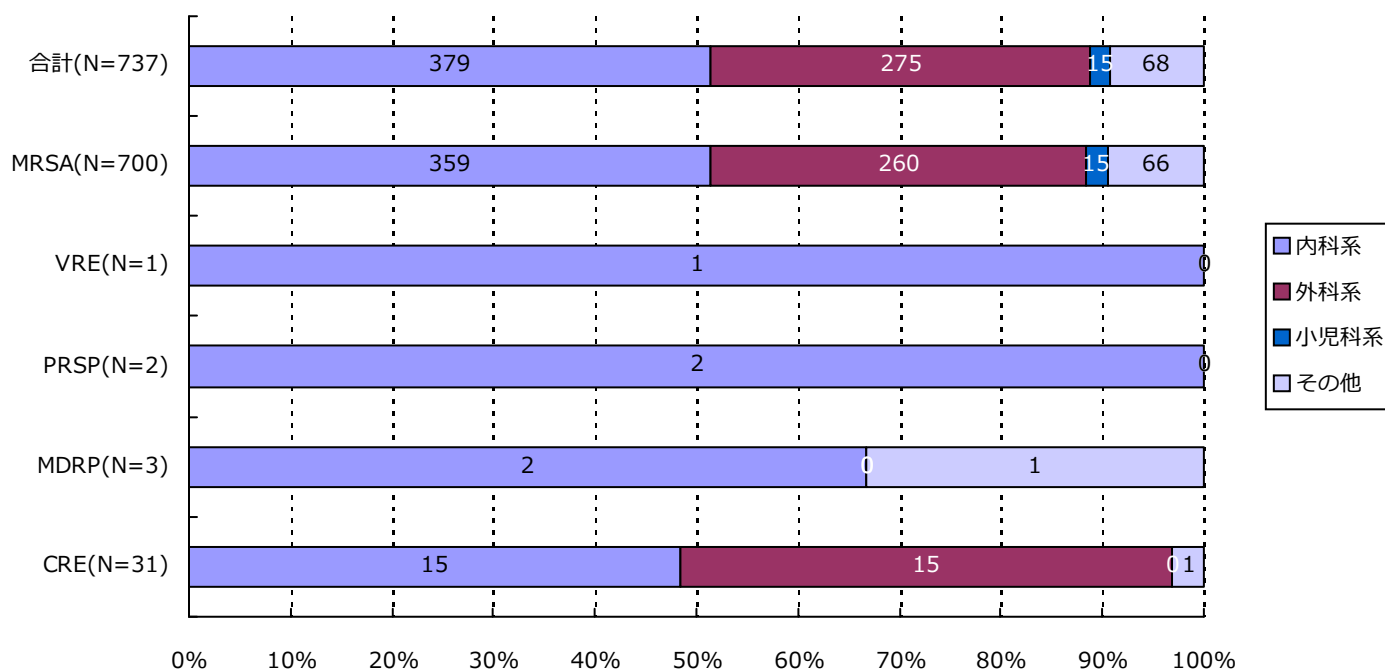
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	52(7.1%)	43(6.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	9(29.0%)
肺炎	267(36.2%)	258(36.9%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	2(66.7%)	0(-)	5(16.1%)
肺炎以外	25(3.4%)	25(3.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	23(3.1%)	13(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	10(32.3%)
中枢神経系	1(0.1%)	1(0.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	129(17.5%)	128(18.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	0(-)
手術創	38(5.2%)	37(5.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(3.2%)
菌血症	155(21.0%)	149(21.3%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	5(16.1%)
その他	47(6.4%)	46(6.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(3.2%)
合計	737	700	0	1	2	3	0	31

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	379(51.4%)	359(51.3%)	0(-)	1(100.0%)	2(100.0%)	2(66.7%)	0(-)	15(48.4%)
外科系	275(37.3%)	260(37.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	15(48.4%)
小児科系	15(2.0%)	15(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	68(9.2%)	66(9.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	1(3.2%)
合計	737	700	0	1	2	3	0	31

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

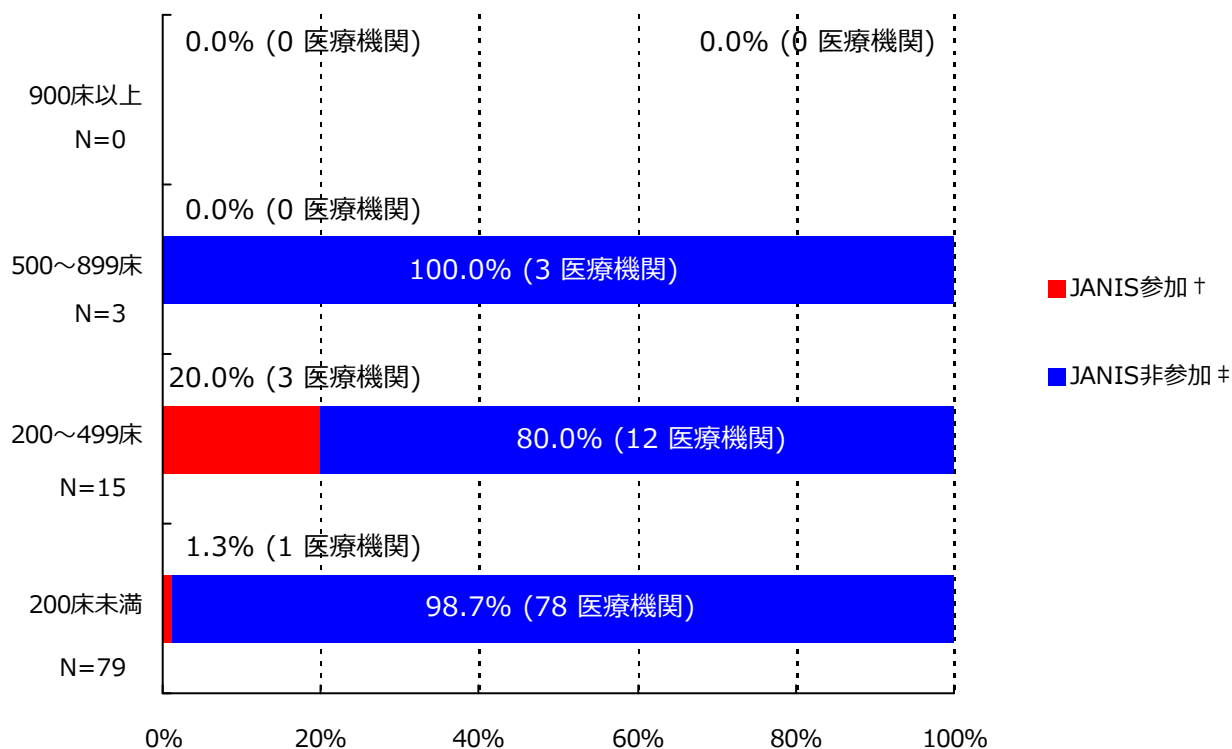
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(4医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	3	0 (0%)
200～499床	15	3 (20%)
200床未満	79	1 (1.3%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	97	4 (4.1%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(佐賀県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	4	30,022	0	65	2.17%	1.23 1.96 3.50 -----
2021年	4	31,240	0	66	2.11%	0.66 1.98 4.09 -----
2022年	4	33,394	0	87	2.61%	0.75 2.59 5.00 -----

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2021年	4	31,240	0	1	0.03%	0.00 0.00 0.08 -----
2022年	4	33,394	0	2	0.06%	0.00 0.09 0.23 -----

(佐賀県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

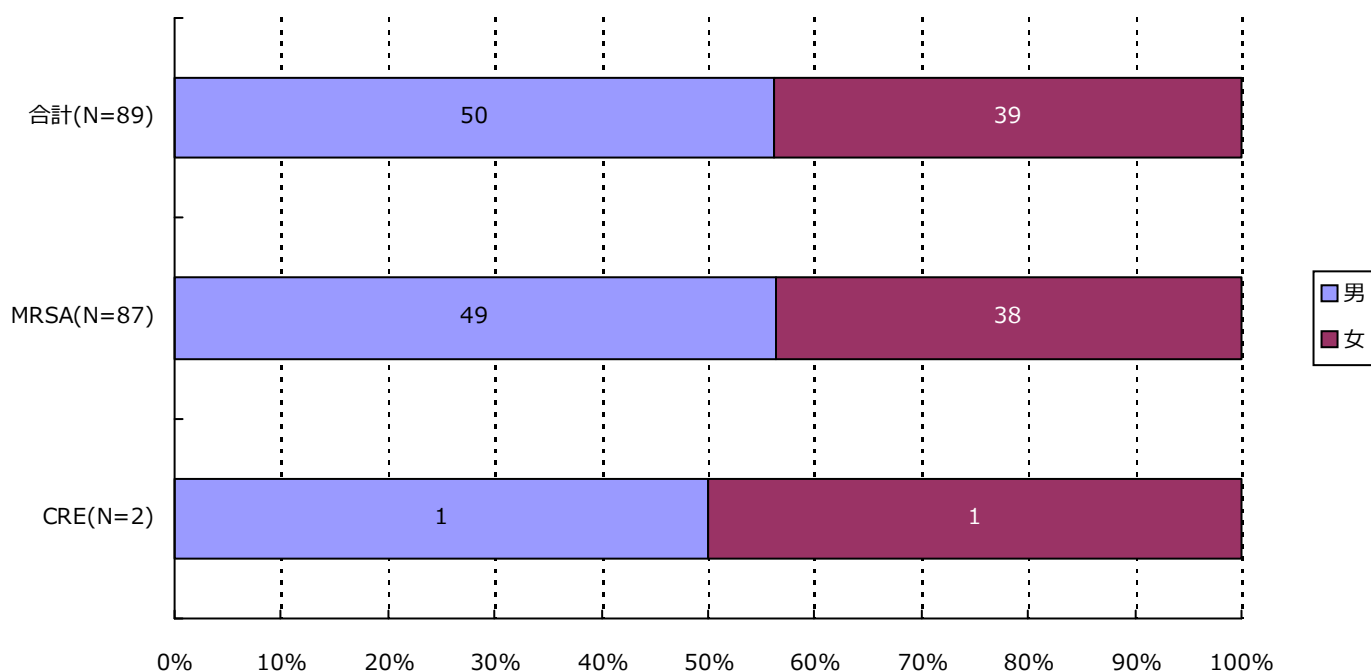
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	50 (56.2%)	49 (56.3%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)
女	39 (43.8%)	38 (43.7%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)
合計	89	87	0	0	0	0	0	2

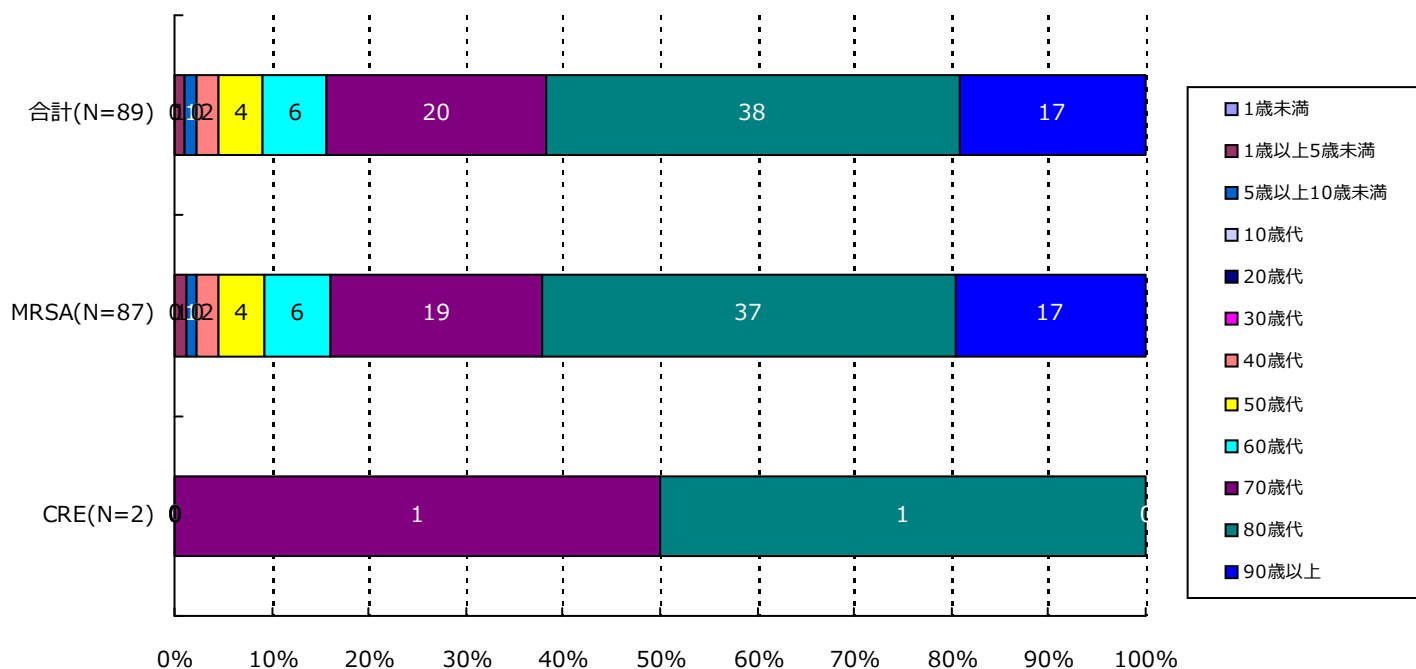
(佐賀県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

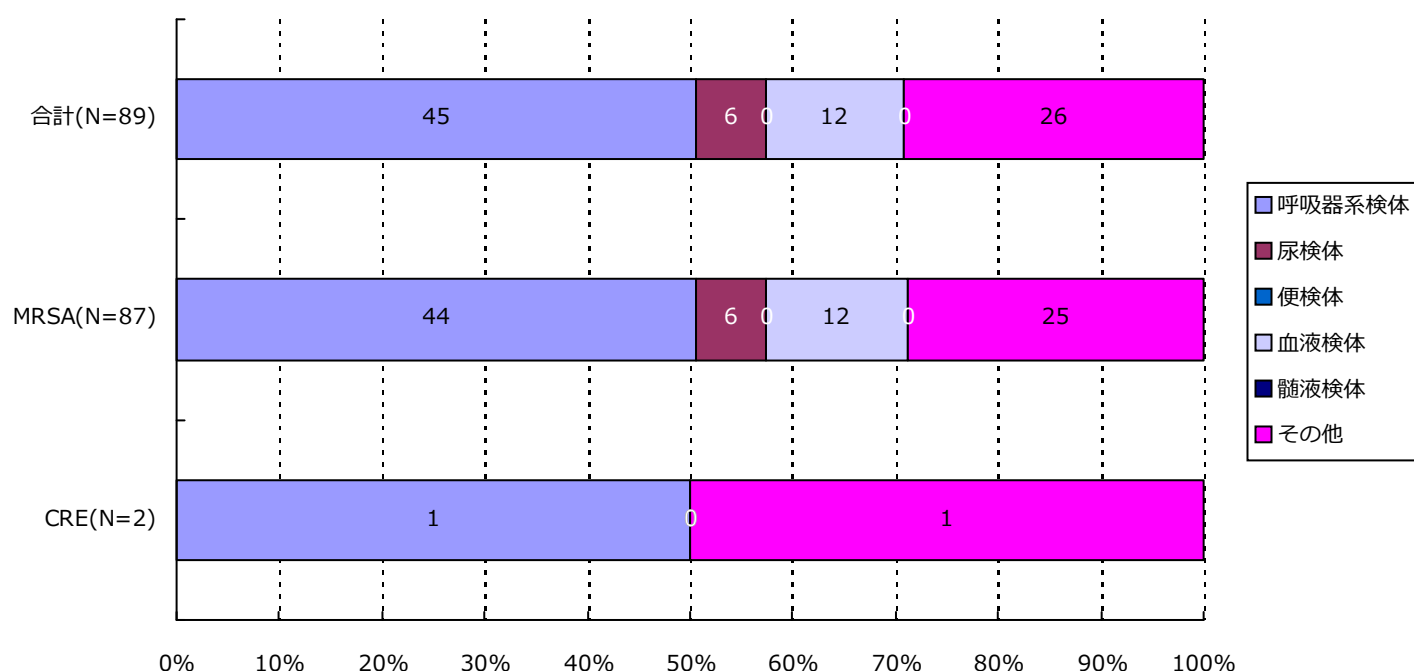


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(1.1%)	1(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(1.1%)	1(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	2(2.2%)	2(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	4(4.5%)	4(4.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	6(6.7%)	6(6.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	20(22.5%)	19(21.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
80歳代	38(42.7%)	37(42.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
90歳以上	17(19.1%)	17(19.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	89	87	0	0	0	0	0	2

5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	45(50.6%)	44(50.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
尿検体	6(6.7%)	6(6.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	12(13.5%)	12(13.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	26(29.2%)	25(28.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
合計	89	87	0	0	0	0	0	2

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

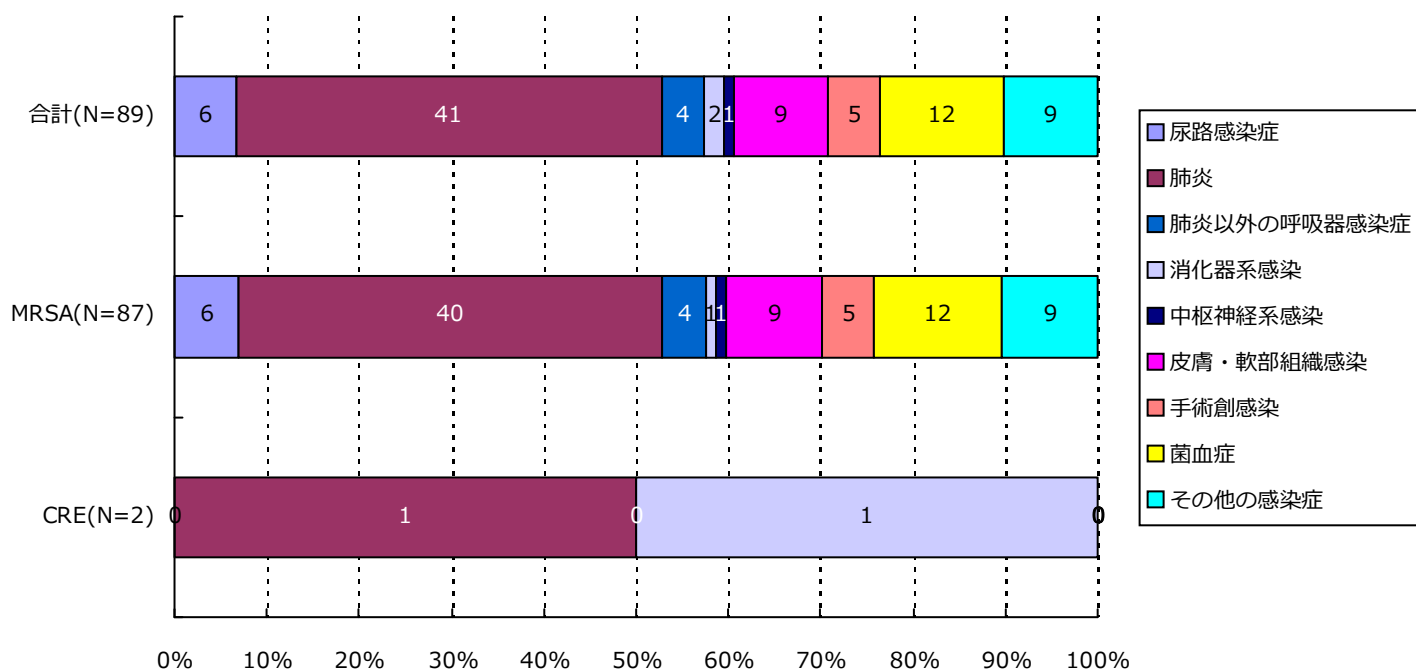
(佐賀県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	6(6.7%)	6(6.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	41(46.1%)	40(46.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
肺炎以外	4(4.5%)	4(4.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	2(2.2%)	1(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
中枢神経系	1(1.1%)	1(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	9(10.1%)	9(10.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	5(5.6%)	5(5.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	12(13.5%)	12(13.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	9(10.1%)	9(10.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	89	87	0	0	0	0	0	2

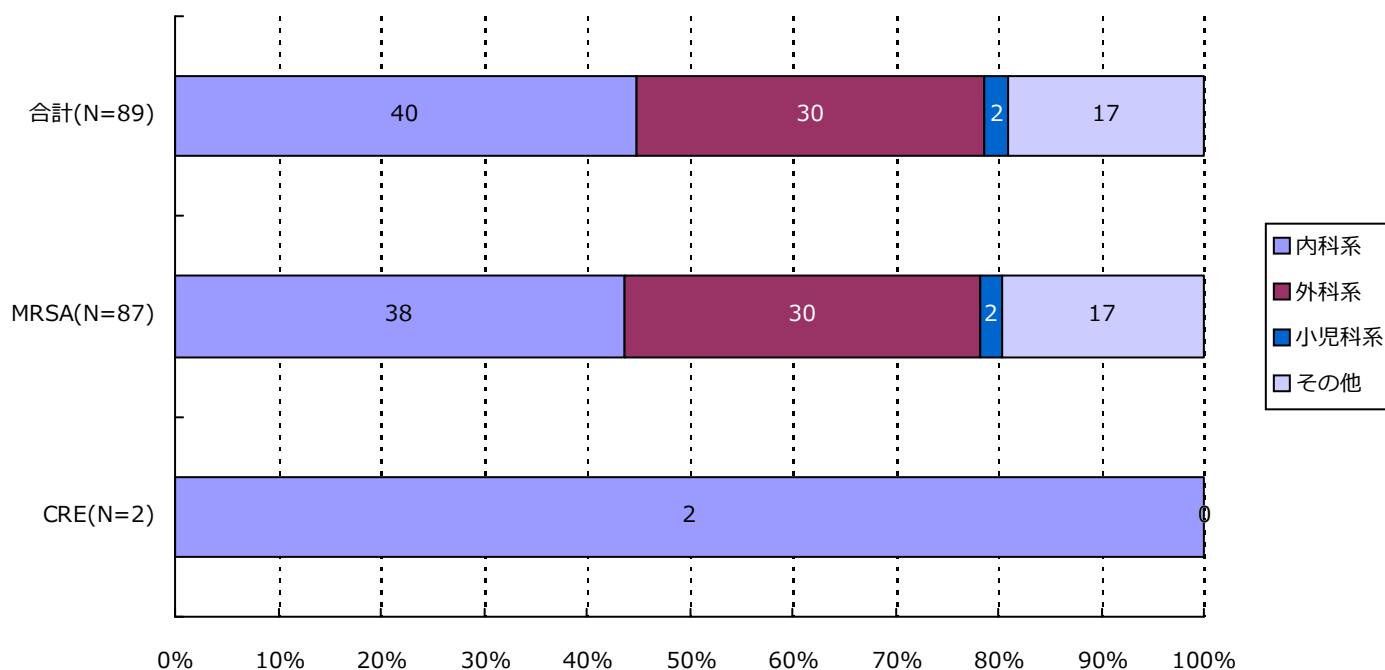
(佐賀県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	40(44.9%)	38(43.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(100.0%)
外科系	30(33.7%)	30(34.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
小児科系	2(2.2%)	2(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	17(19.1%)	17(19.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	89	87	0	0	0	0	0	2

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	老人内科		眼科
	心療内科		耳鼻咽喉科
	その他		性病科
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
リハビリテーション科		小児科	
麻酔科		新生児科	
その他		新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

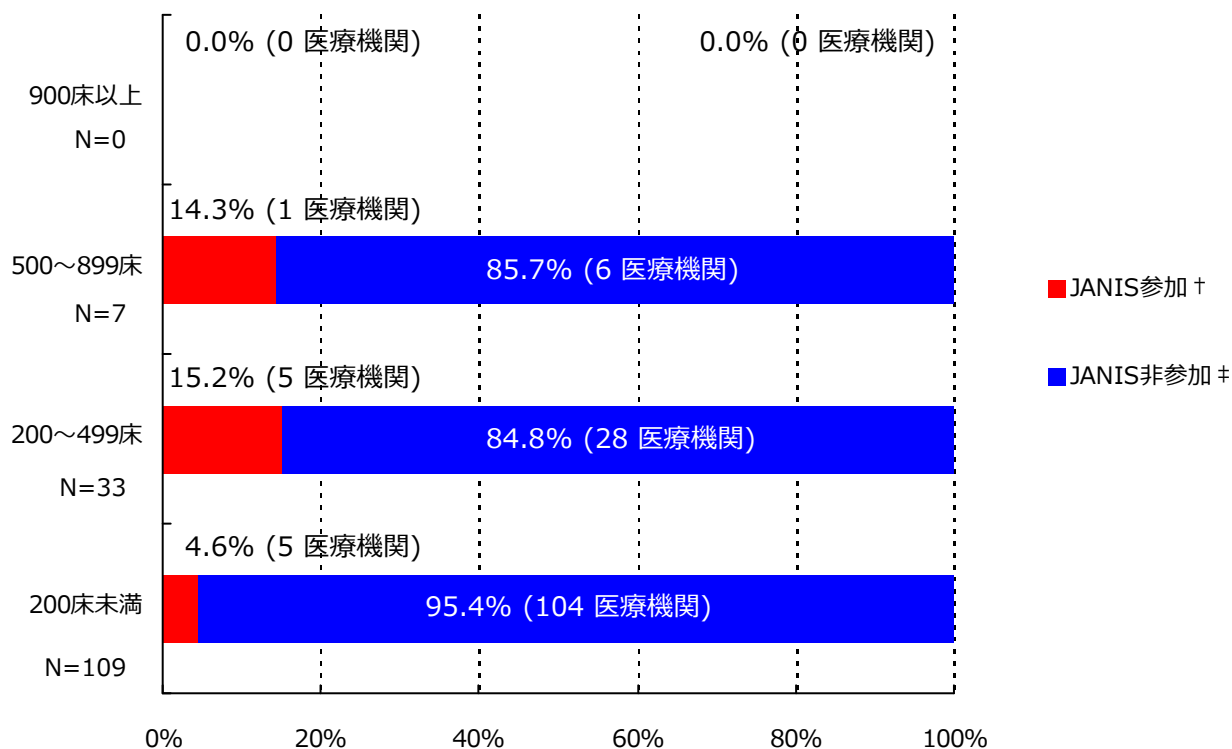
* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

(長崎県)
公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(11医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	7	1 (14.3%)
200～499床	33	5 (15.2%)
200床未満	109	5 (4.6%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	149	11 (7.4%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(長崎県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	10	49,716	2	139	2.80%	0.00 1.69 6.33 -----
2021年	11	51,322	0	151	2.94%	1.23 2.53 7.18 -----
2022年	11	50,820	0	190	3.74%	0.85 3.88 6.87 -----

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2021年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2022年	11	50,820	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.29 -----

(長崎県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2021年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2022年	11	50,820	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.17

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	10	49,716	0	6	0.12%	0.00 0.00 0.58
2021年	11	51,322	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.15
2022年	11	50,820	0	4	0.08%	0.00 0.00 0.23

(長崎県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

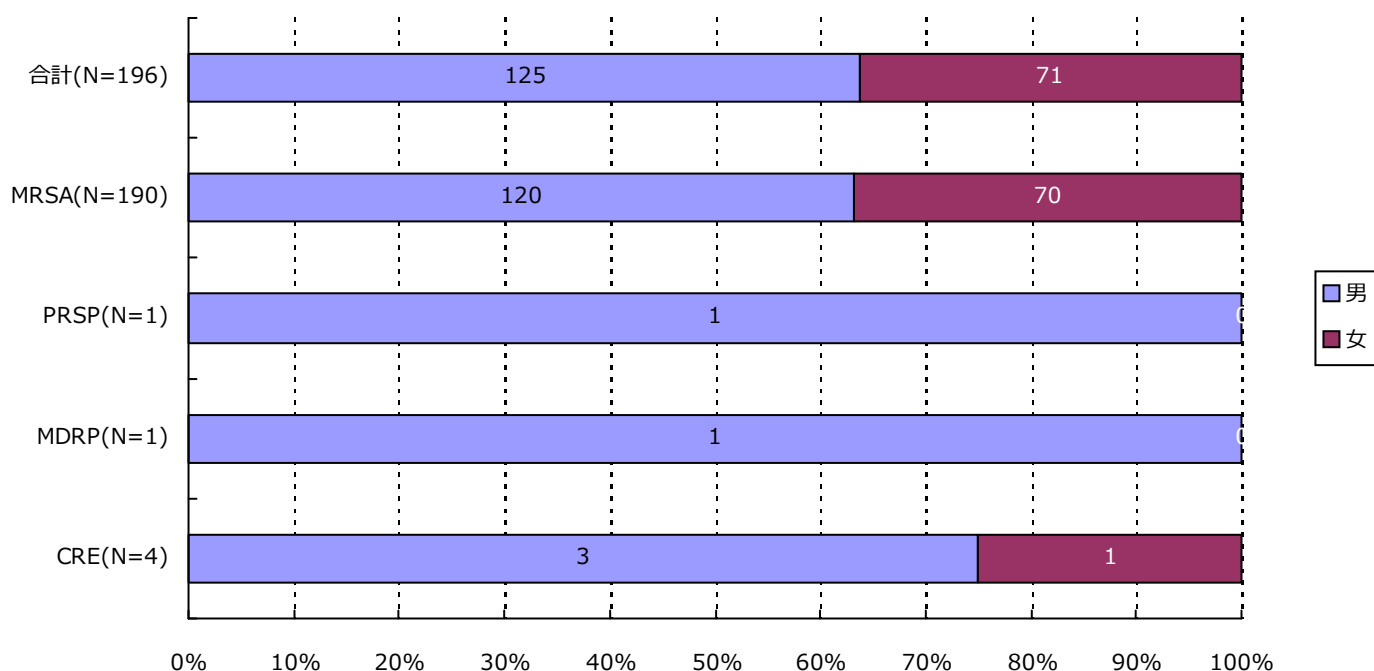
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	125(63.8%)	120(63.2%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	1(100.0%)	0(-)	3(75.0%)
女	71(36.2%)	70(36.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
合計	196	190	0	0	1	1	0	4

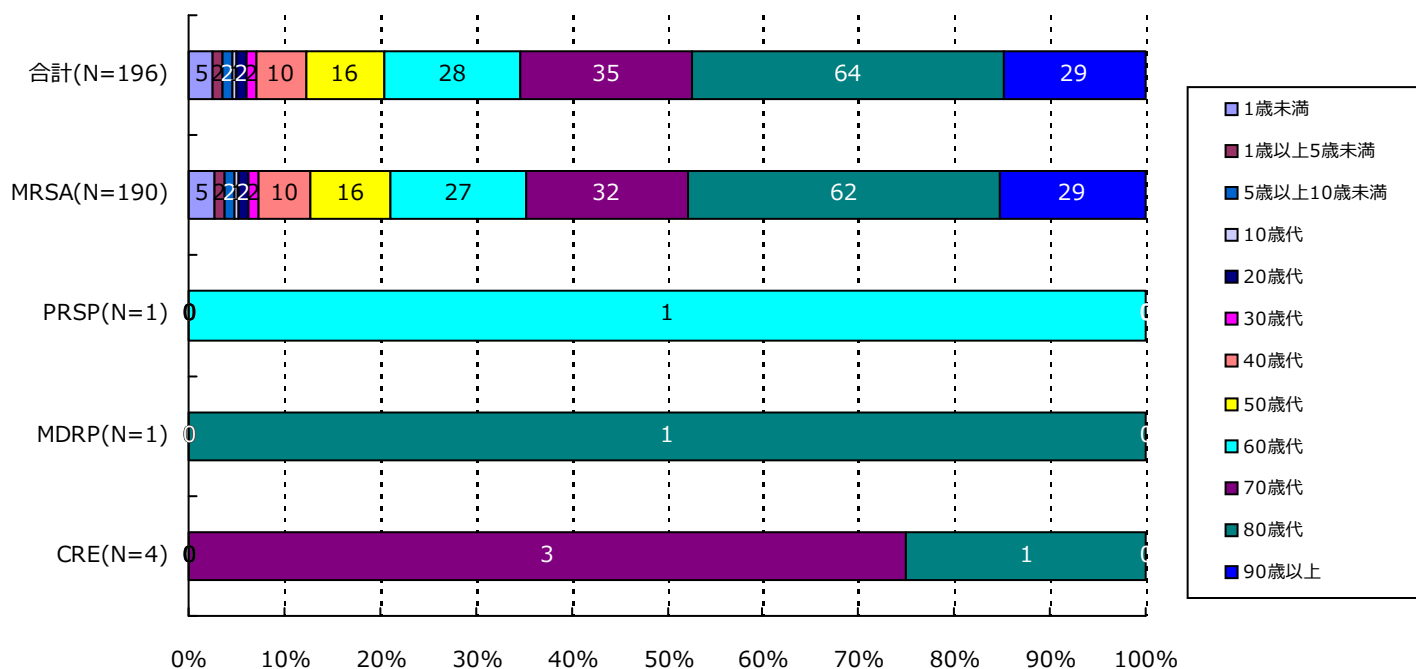
(長崎県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	5(2.6%)	5(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	2(1.0%)	2(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	2(1.0%)	2(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.5%)	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	2(1.0%)	2(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(1.0%)	2(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	10(5.1%)	10(5.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	16(8.2%)	16(8.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	28(14.3%)	27(14.2%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	35(17.9%)	32(16.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(75.0%)
80歳代	64(32.7%)	62(32.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(25.0%)
90歳以上	29(14.8%)	29(15.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	196	190	0	0	1	1	0	4

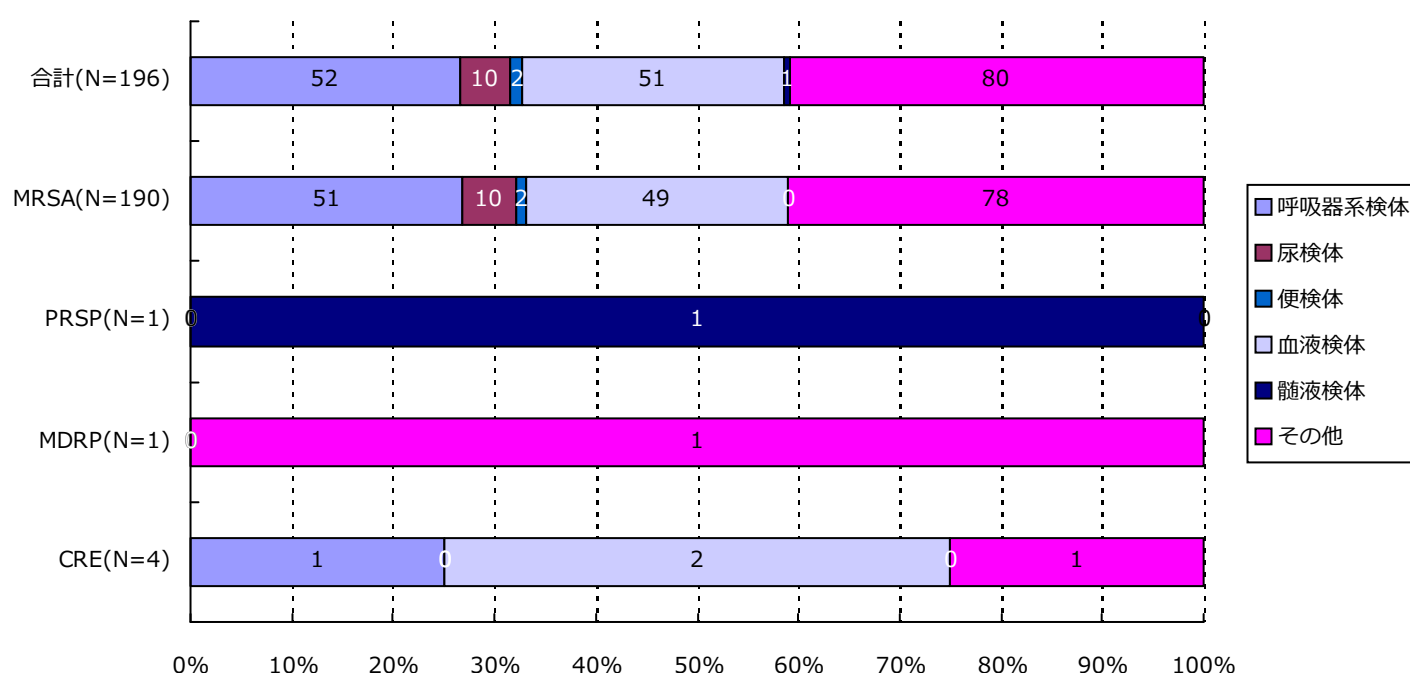
(長崎県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	52(26.5%)	51(26.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
尿検体	10(5.1%)	10(5.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	2(1.0%)	2(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	51(26.0%)	49(25.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
髄液検体	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	80(40.8%)	78(41.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(25.0%)
合計	196	190	0	0	1	1	0	4

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

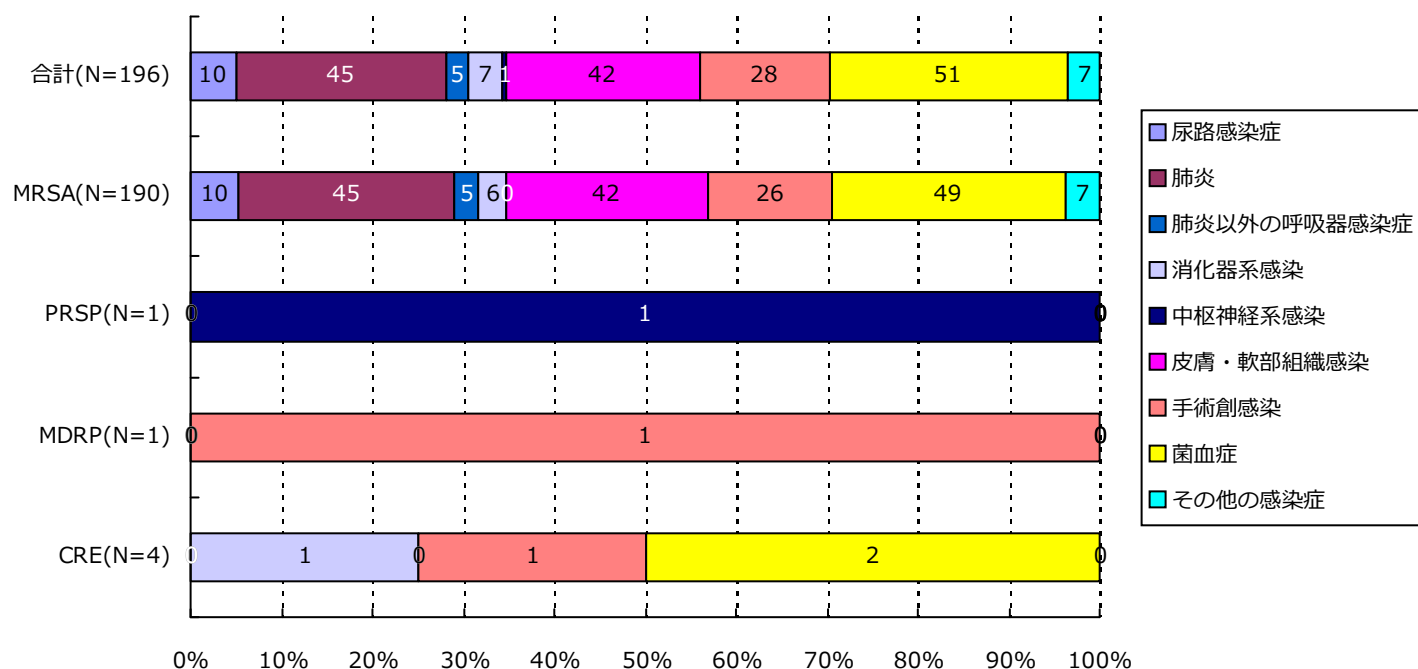
(長崎県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

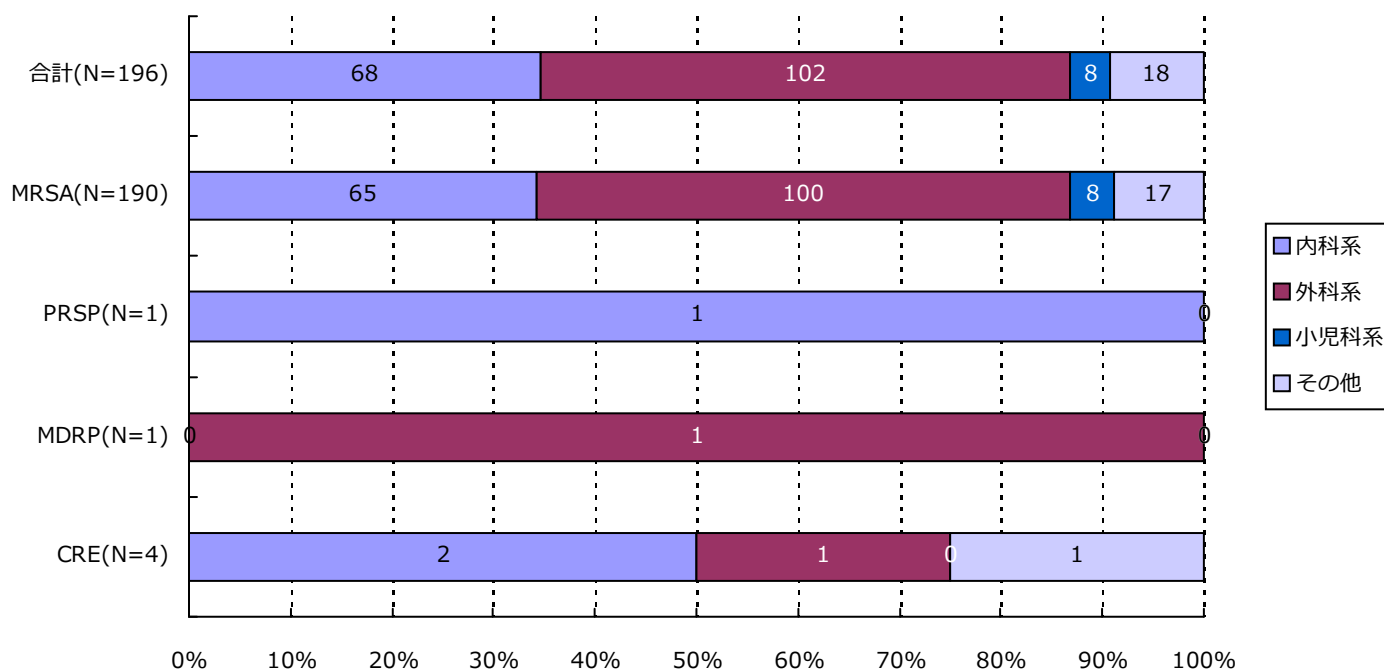


6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	10(5.1%)	10(5.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	45(23.0%)	45(23.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	5(2.6%)	5(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	7(3.6%)	6(3.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
中枢神経系	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	42(21.4%)	42(22.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	28(14.3%)	26(13.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(25.0%)
菌血症	51(26.0%)	49(25.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
その他	7(3.6%)	7(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	196	190	0	0	1	1	0	4

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	68(34.7%)	65(34.2%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
外科系	102(52.0%)	100(52.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(25.0%)
小児科系	8(4.1%)	8(4.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	18(9.2%)	17(8.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
合計	196	190	0	0	1	1	0	4

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	老人内科		眼科
	心療内科		耳鼻咽喉科
	その他		性病科
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
リハビリテーション科		小児科	
麻酔科		新生児科	
その他		新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

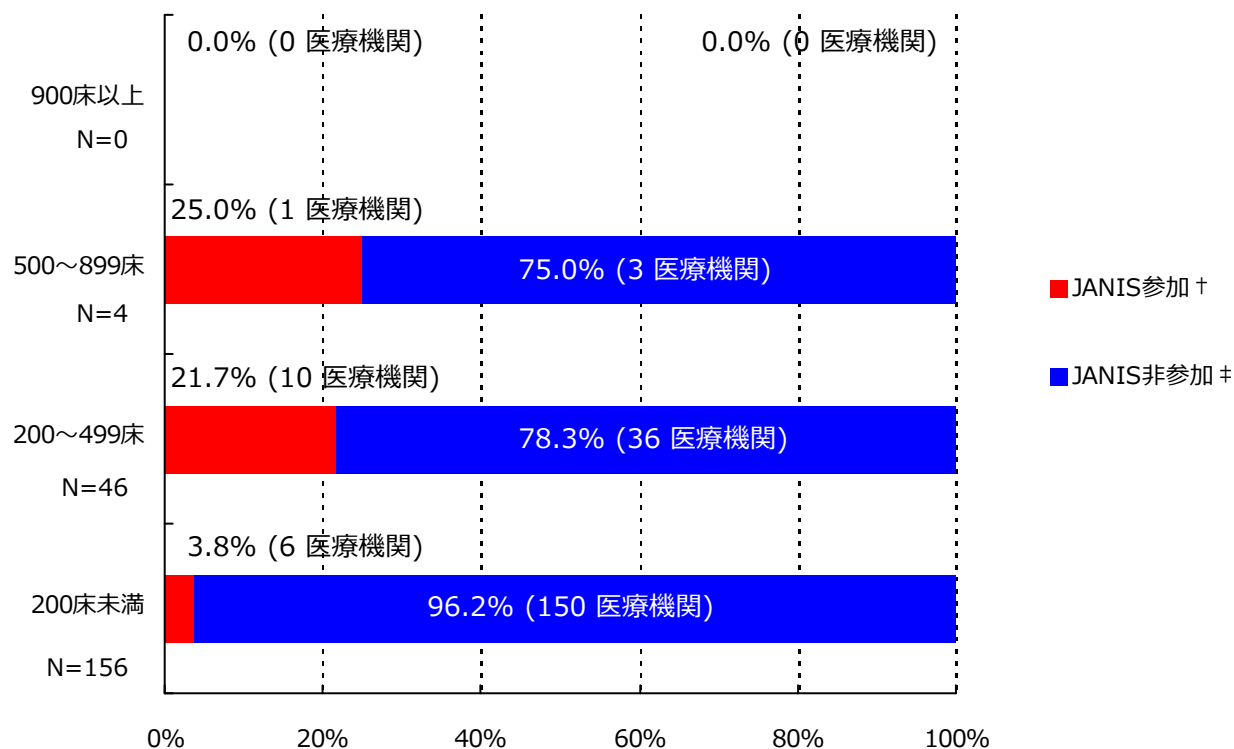
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(17医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	4	1 (25%)
200～499床	46	10 (21.7%)
200床未満	156	6 (3.8%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	206	17 (8.3%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(熊本県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	16	90,376	3	178	1.97%	0.00 1.20 9.24 -----
2021年	16	91,024	4	207	2.27%	0.00 1.37 16.47 -----
2022年	17	90,860	3	205	2.26%	0.00 2.40 13.13 -----

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	16	90,376	0	4	0.04%	0.00 0.00 0.76 -----
2021年	16	91,024	0	3	0.03%	0.00 0.00 0.34 -----
2022年	17	90,860	0	2	0.02%	0.00 0.00 0.69 -----

(熊本県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2021年	16	91,024	0	3	0.03%	0.00 0.00 ----- 0.25
2022年	17	90,860	0	2	0.02%	0.00 0.00 ----- 0.10

(熊本県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

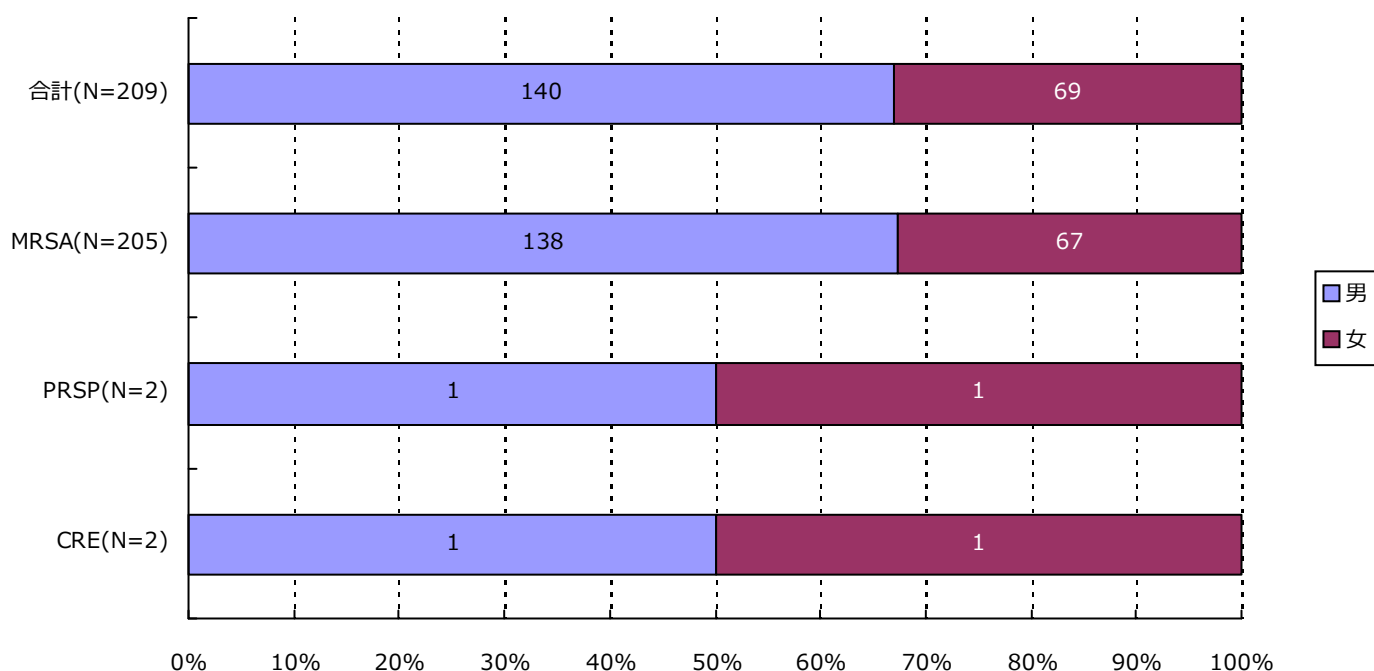
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	140 (67.0%)	138 (67.3%)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)
女	69 (33.0%)	67 (32.7%)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)
合計	209	205	0	0	2	0	0	2

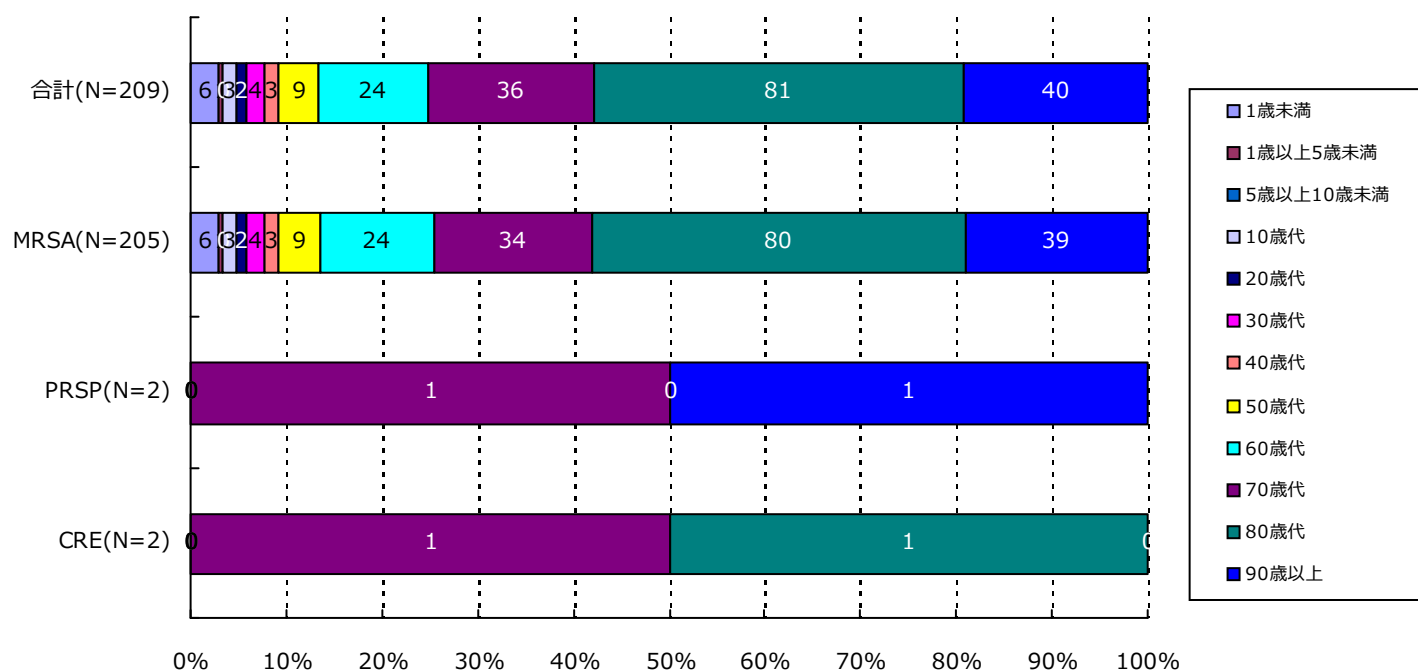
(熊本県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

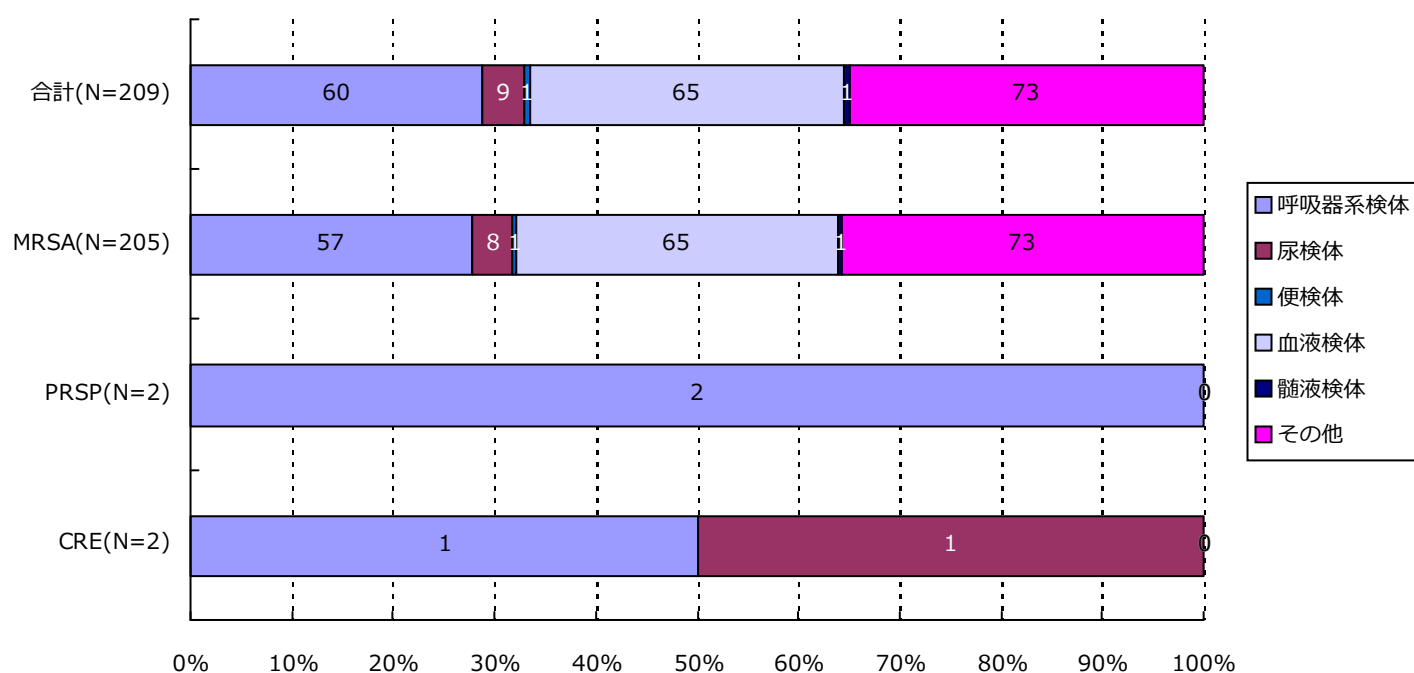


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	6(2.9%)	6(2.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(0.5%)	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	3(1.4%)	3(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	2(1.0%)	2(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	4(1.9%)	4(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	3(1.4%)	3(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	9(4.3%)	9(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	24(11.5%)	24(11.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	36(17.2%)	34(16.6%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
80歳代	81(38.8%)	80(39.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
90歳以上	40(19.1%)	39(19.0%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	209	205	0	0	2	0	0	2

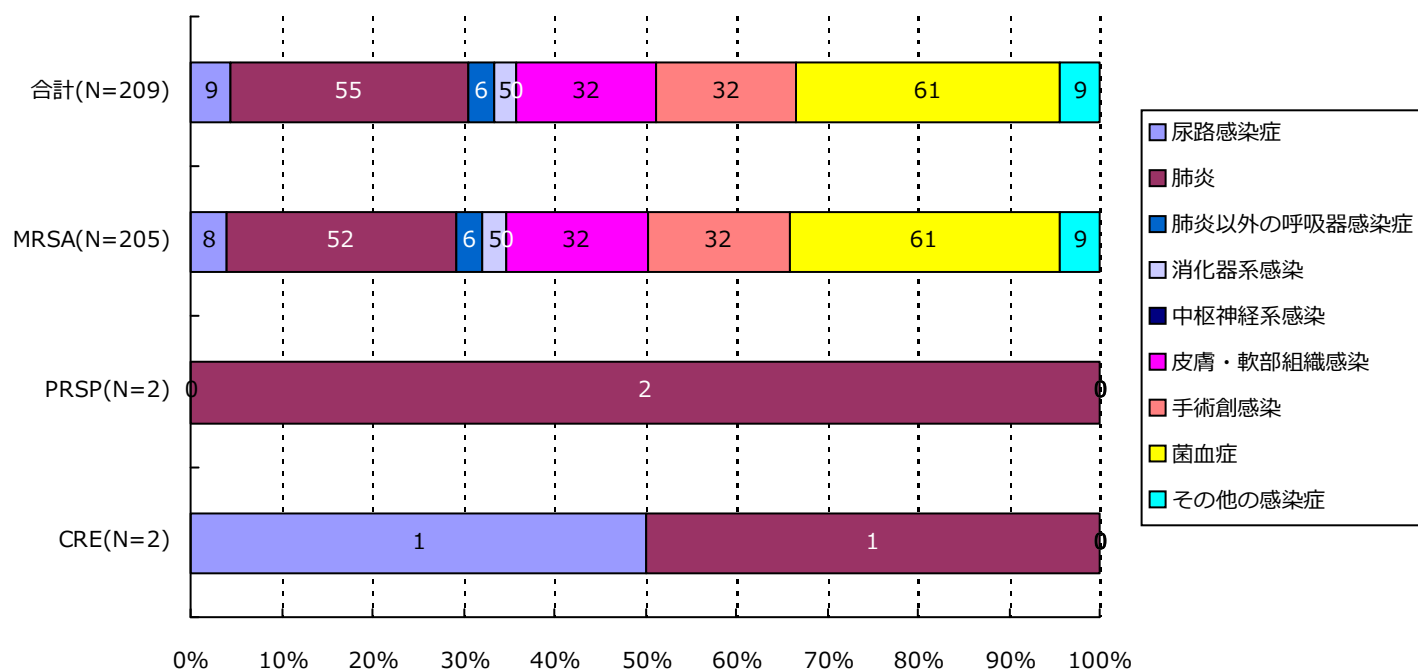
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	60(28.7%)	57(27.8%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
尿検体	9(4.3%)	8(3.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
便検体	1(0.5%)	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	65(31.1%)	65(31.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	1(0.5%)	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	73(34.9%)	73(35.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	209	205	0	0	2	0	0	2

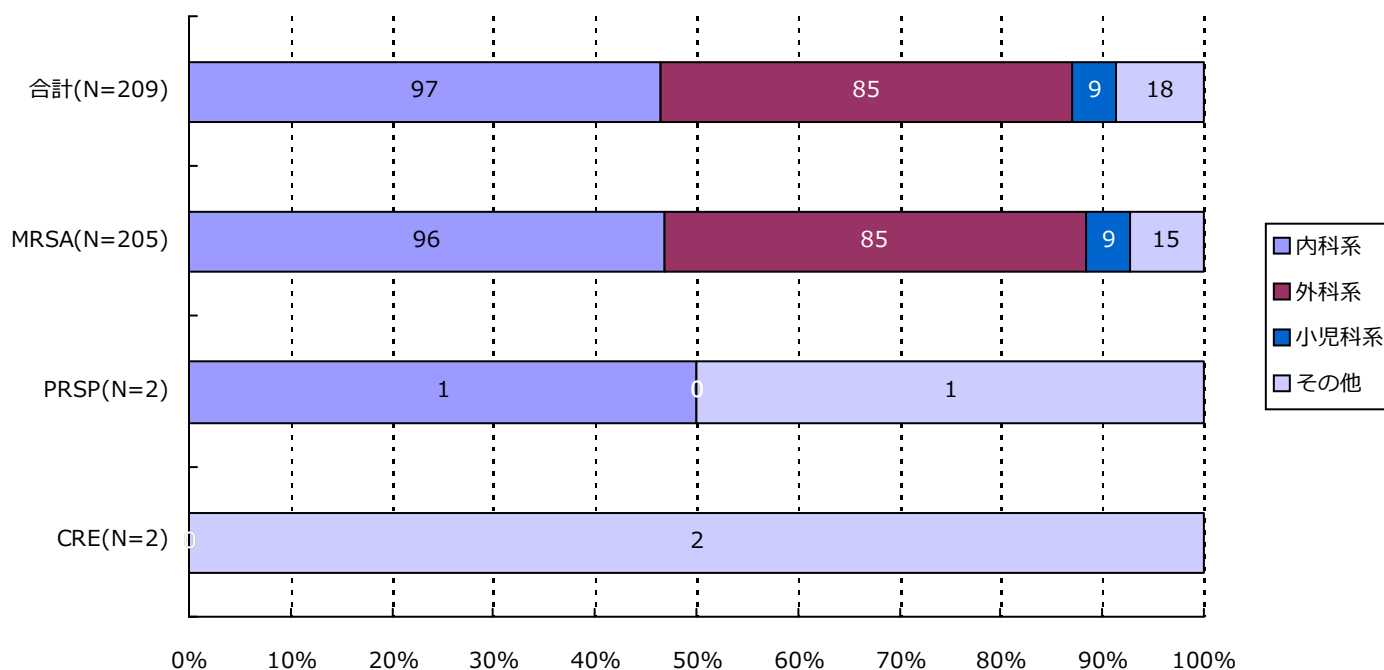
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	9(4.3%)	8(3.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
肺炎	55(26.3%)	52(25.4%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
肺炎以外	6(2.9%)	6(2.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	5(2.4%)	5(2.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	32(15.3%)	32(15.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	32(15.3%)	32(15.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	61(29.2%)	61(29.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	9(4.3%)	9(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	209	205	0	0	2	0	0	2

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	97(46.4%)	96(46.8%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	85(40.7%)	85(41.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
小児科系	9(4.3%)	9(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	18(8.6%)	15(7.3%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)
合計	209	205	0	0	2	0	0	2

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

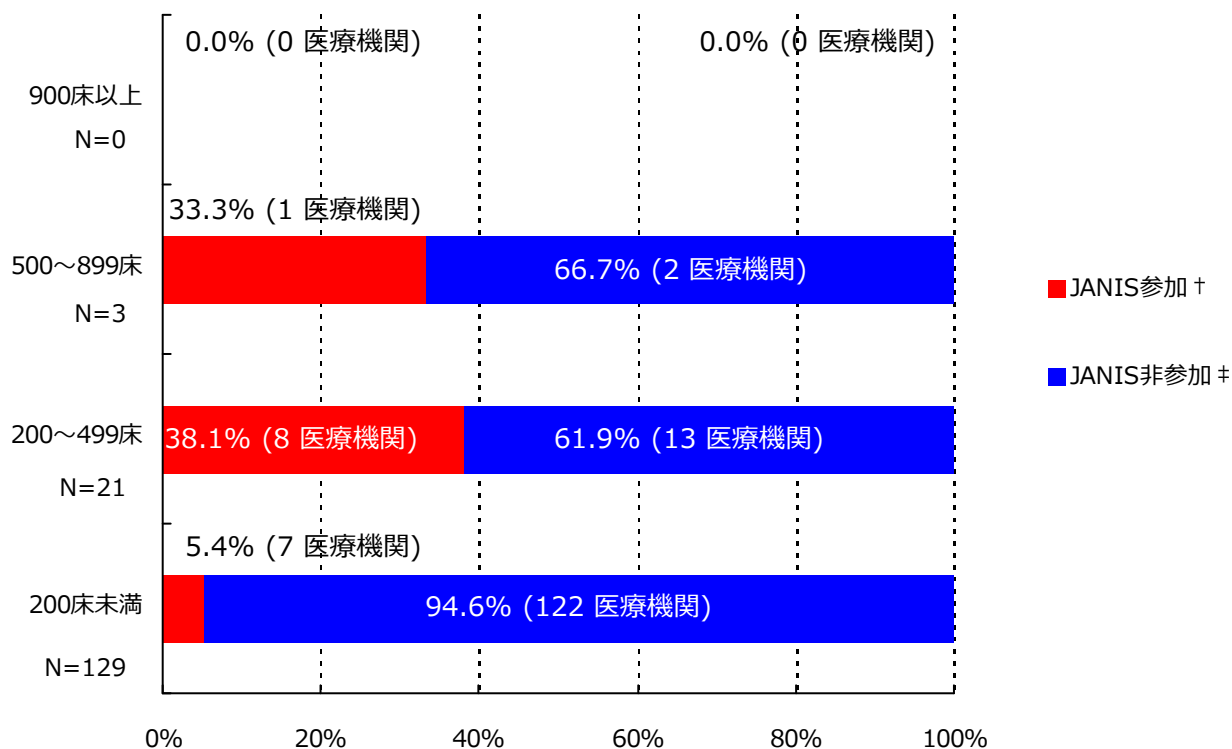
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(16医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	3	1 (33.3%)
200～499床	21	8 (38.1%)
200床未満	129	7 (5.4%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	153	16 (10.5%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(大分県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	15	60,545	6	247	4.08%	0.00 4.76 11.45 -----
2021年	16	77,472	6	274	3.54%	0.00 4.44 13.90 -----
2022年	16	69,486	8	272	3.91%	0.46 3.86 10.99 -----

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2021年	16	77,472	0	3	0.04%	0.00 0.00 0.63 -----
2022年	16	69,486	0	7	0.10%	0.00 0.00 1.23 -----

(大分県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	15	60,545	0	6	0.10%	0.00 0.00 0.46
2021年	16	77,472	0	2	0.03%	0.00 0.00 0.79
2022年	16	69,486	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.55

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	15	60,545	0	5	0.08%	0.00 0.00 3.82
2021年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2022年	16	69,486	0	2	0.03%	0.00 0.00 1.49

(大分県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	15	60,545	0	3	0.05%	0.00 0.00 ----- 0.39
2021年	16	77,472	0	7	0.09%	0.00 0.00 ----- 0.73
2022年	16	69,486	0	7	0.10%	0.00 0.00 ----- 0.68

(大分県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

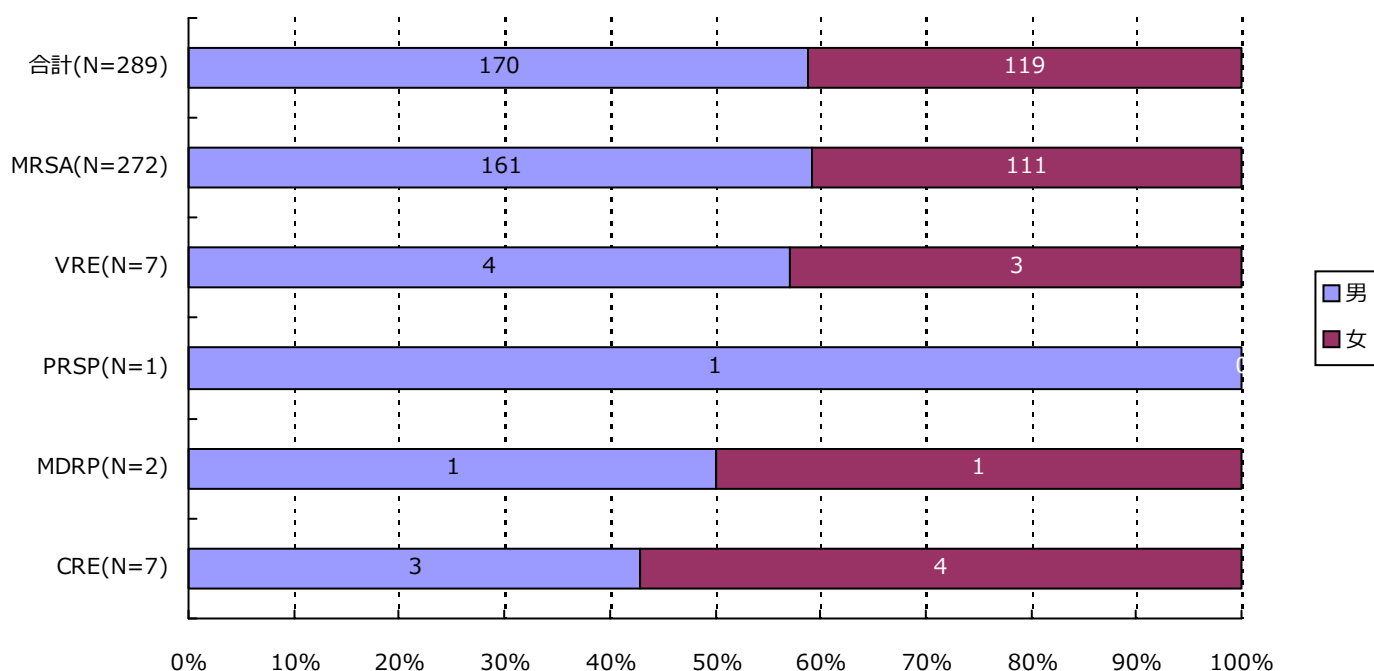
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	170(58.8%)	161(59.2%)	0(-)	4(57.1%)	1(100.0%)	1(50.0%)	0(-)	3(42.9%)
女	119(41.2%)	111(40.8%)	0(-)	3(42.9%)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	4(57.1%)
合計	289	272	0	7	1	2	0	7

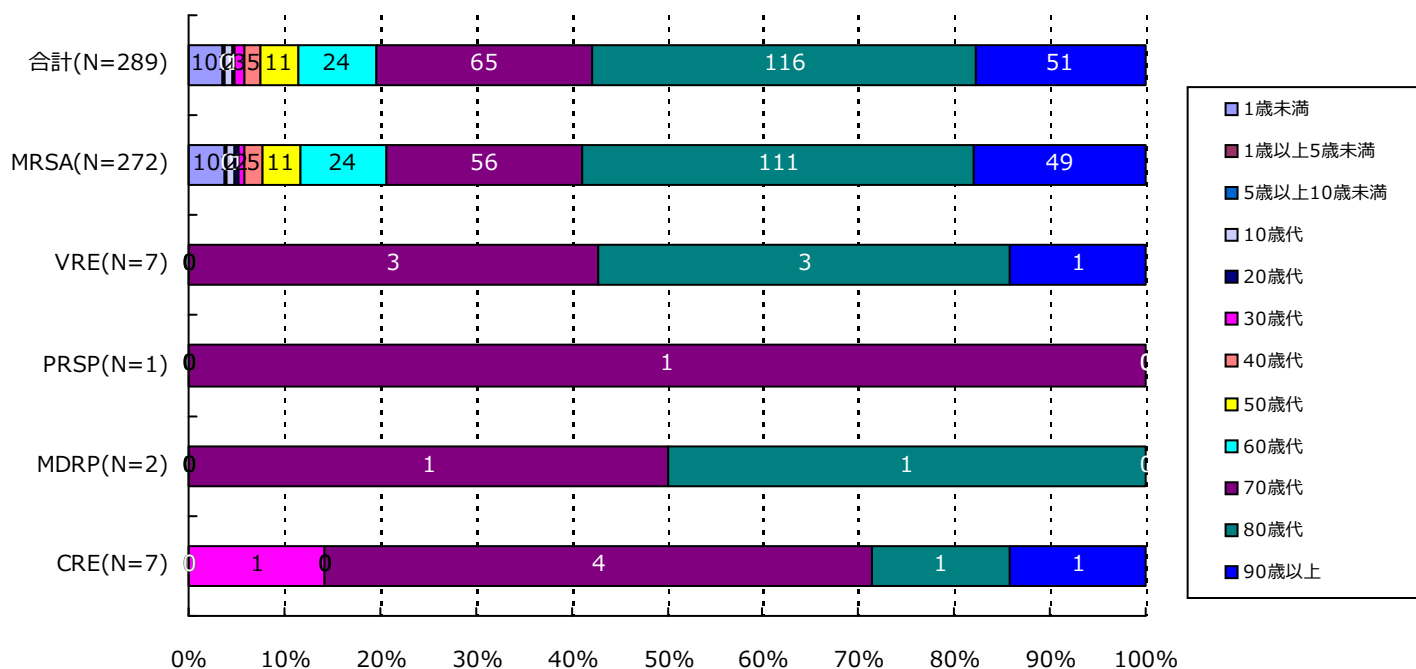
(大分県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

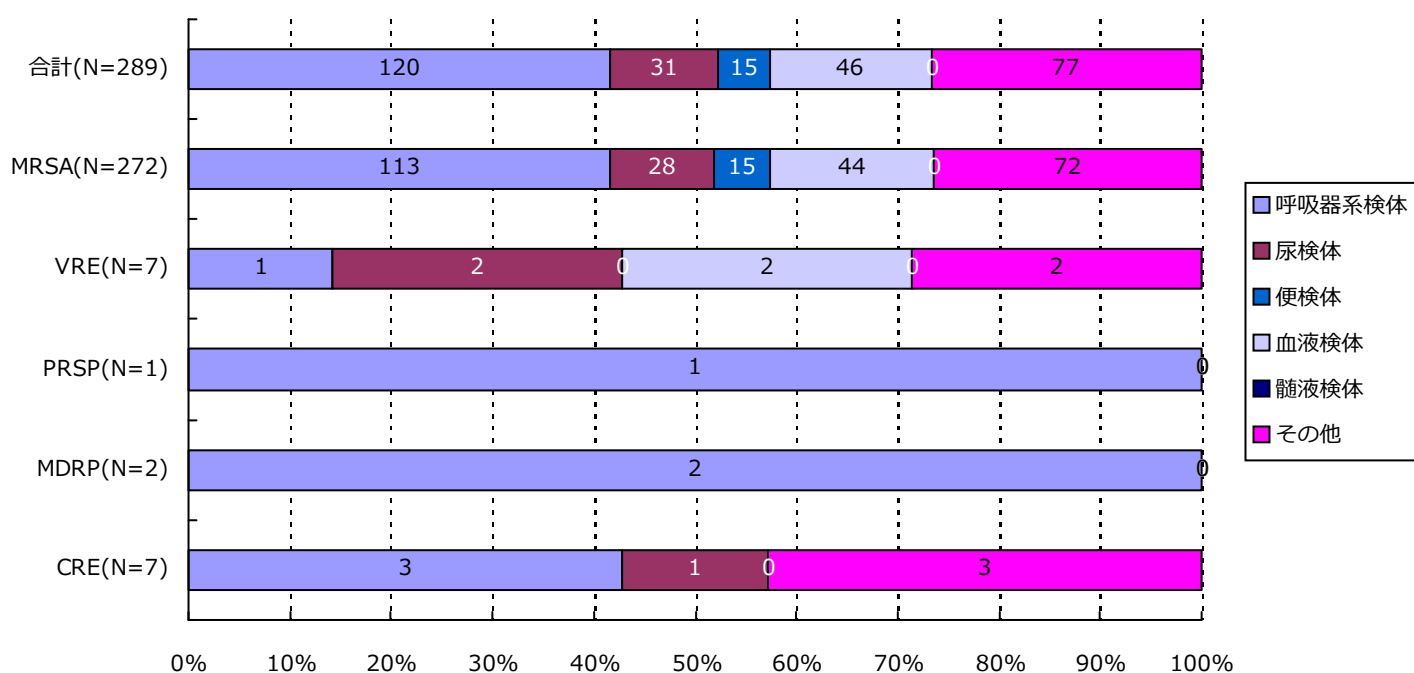


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	10(3.5%)	10(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(0.3%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	2(0.7%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	1(0.3%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	3(1.0%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)
40歳代	5(1.7%)	5(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	11(3.8%)	11(4.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	24(8.3%)	24(8.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	65(22.5%)	56(20.6%)	0(-)	3(42.9%)	1(100.0%)	1(50.0%)	0(-)	4(57.1%)
80歳代	116(40.1%)	111(40.8%)	0(-)	3(42.9%)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	1(14.3%)
90歳以上	51(17.6%)	49(18.0%)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)
合計	289	272	0	7	1	2	0	7

5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	120(41.5%)	113(41.5%)	0(-)	1(14.3%)	1(100.0%)	2(100.0%)	0(-)	3(42.9%)
尿検体	31(10.7%)	28(10.3%)	0(-)	2(28.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)
便検体	15(5.2%)	15(5.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	46(15.9%)	44(16.2%)	0(-)	2(28.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	77(26.6%)	72(26.5%)	0(-)	2(28.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(42.9%)
合計	289	272	0	7	1	2	0	7

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

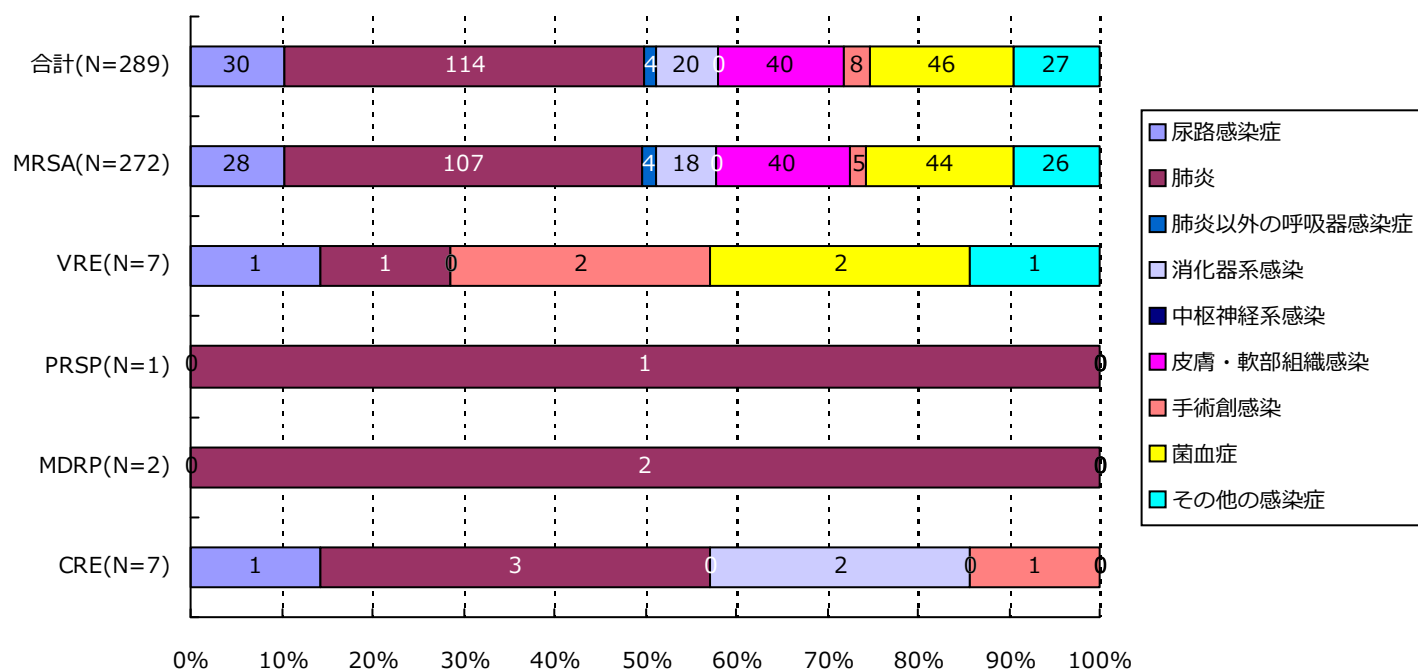
(大分県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	30(10.4%)	28(10.3%)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)
肺炎	114(39.4%)	107(39.3%)	0(-)	1(14.3%)	1(100.0%)	2(100.0%)	0(-)	3(42.9%)
肺炎以外	4(1.4%)	4(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	20(6.9%)	18(6.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(28.6%)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	40(13.8%)	40(14.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	8(2.8%)	5(1.8%)	0(-)	2(28.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)
菌血症	46(15.9%)	44(16.2%)	0(-)	2(28.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	27(9.3%)	26(9.6%)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	289	272	0	7	1	2	0	7

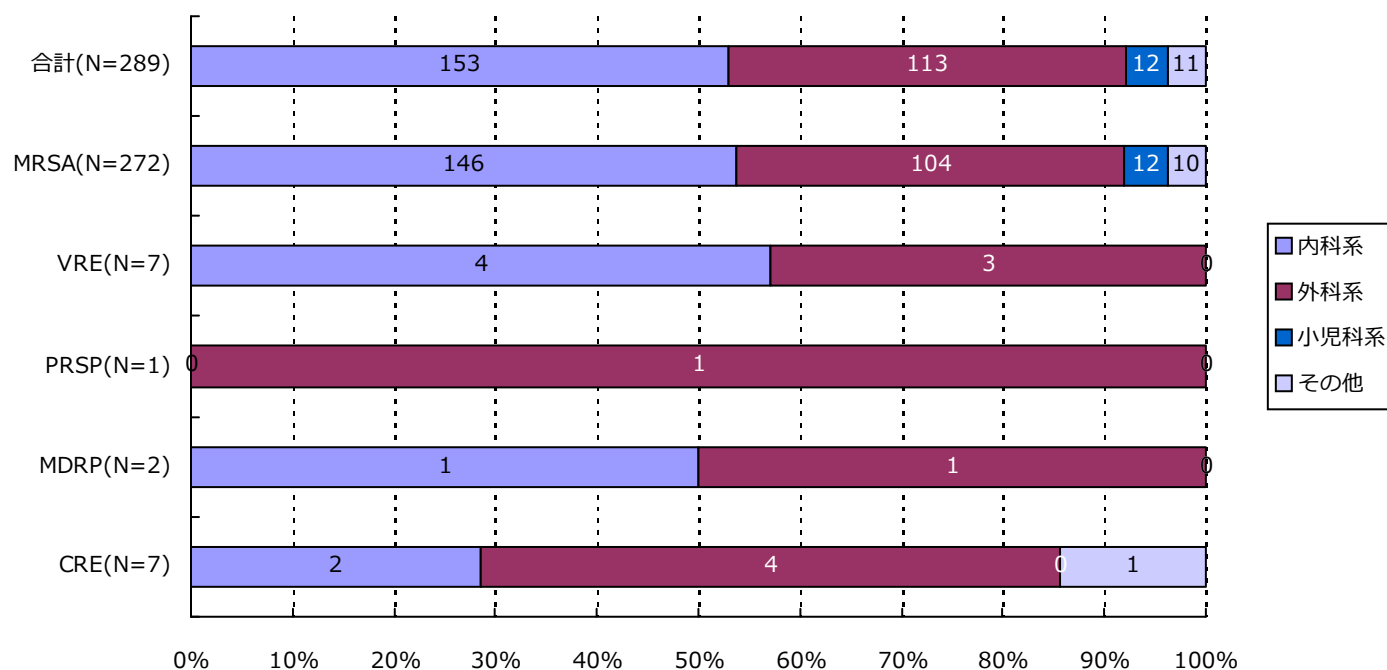
(大分県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	153(52.9%)	146(53.7%)	0(-)	4(57.1%)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	2(28.6%)
外科系	113(39.1%)	104(38.2%)	0(-)	3(42.9%)	1(100.0%)	1(50.0%)	0(-)	4(57.1%)
小児科系	12(4.2%)	12(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	11(3.8%)	10(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)
合計	289	272	0	7	1	2	0	7

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

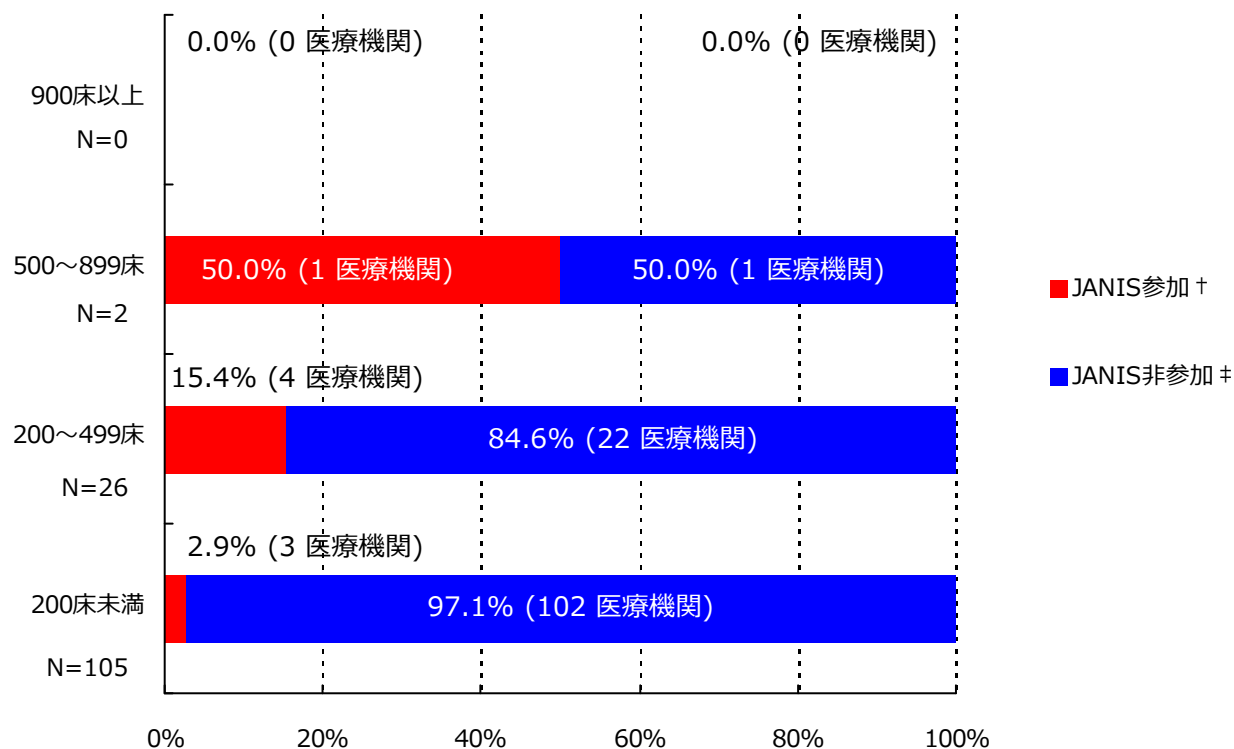
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(8医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	2	1 (50%)
200～499床	26	4 (15.4%)
200床未満	105	3 (2.9%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	133	8 (6%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(宮崎県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	8	33,462	1	106	3.17%	0.83 3.30 6.02 ----- -----
2021年	8	33,433	0	142	4.25%	1.20 4.44 10.79 ----- -----
2022年	8	34,435	0	110	3.19%	0.00 2.98 5.18 ----- -----

(宮崎県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

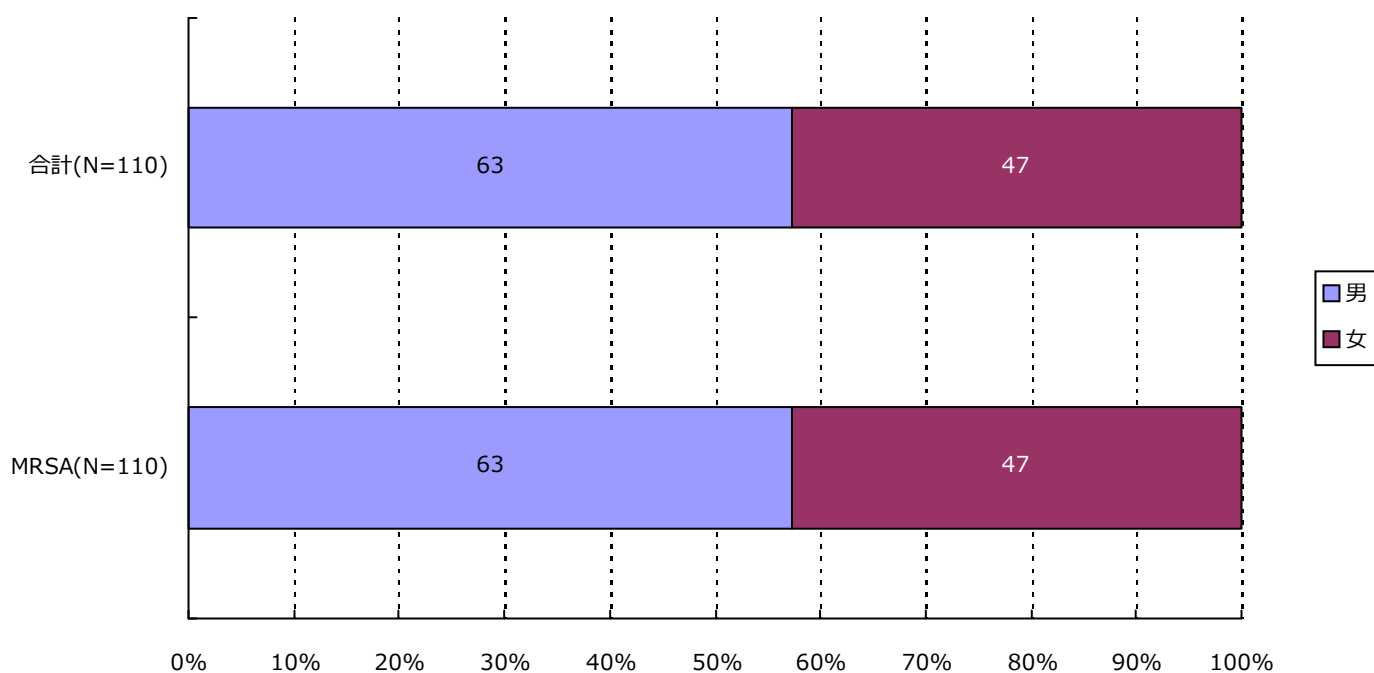
(宮崎県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

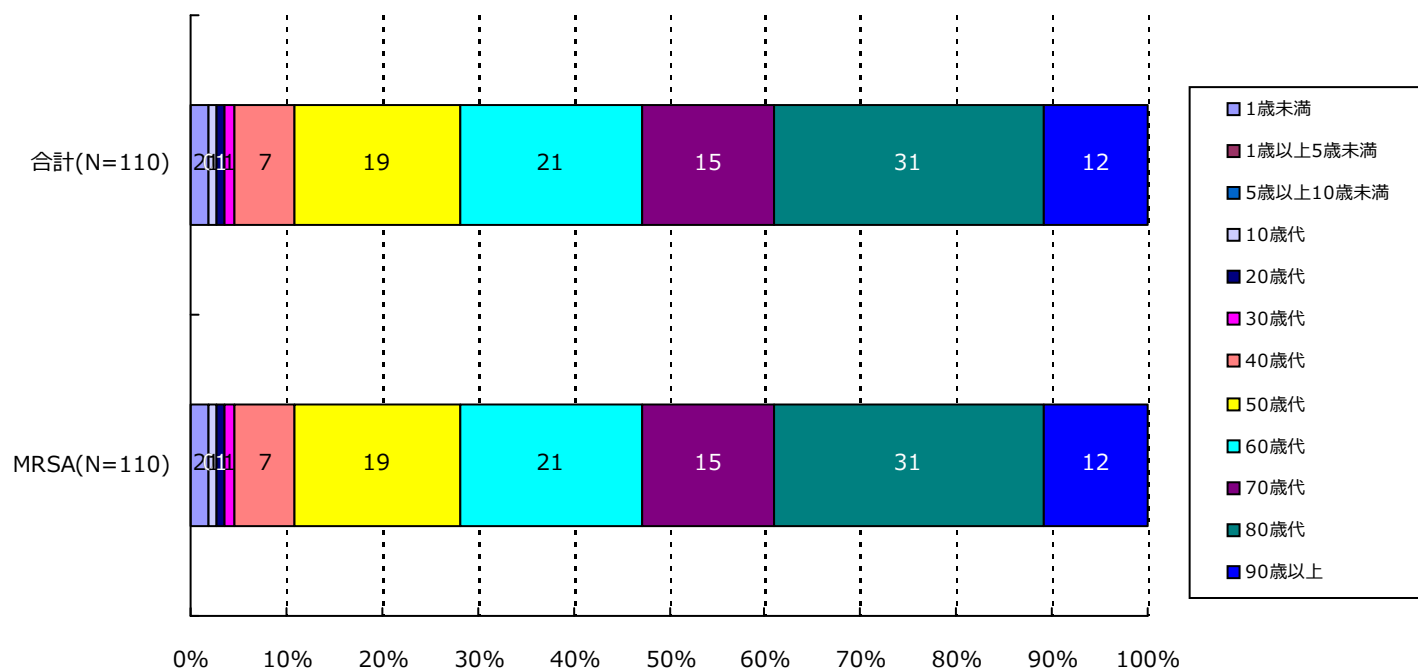


3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



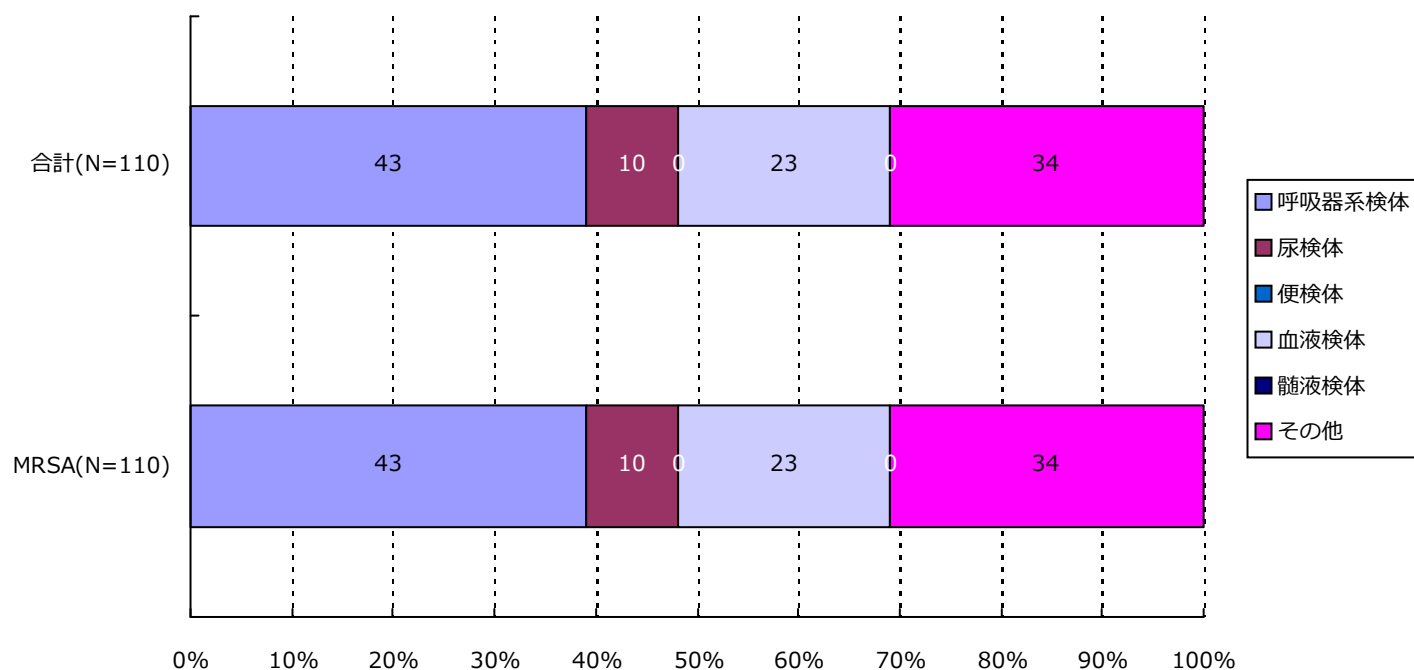
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	63 (57.3%)	63 (57.3%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
女	47 (42.7%)	47 (42.7%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
合計	110	110	0	0	0	0	0	0

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	2(1.8%)	2(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.9%)	1(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	1(0.9%)	1(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	1(0.9%)	1(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	7(6.4%)	7(6.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	19(17.3%)	19(17.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	21(19.1%)	21(19.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	15(13.6%)	15(13.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
80歳代	31(28.2%)	31(28.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	12(10.9%)	12(10.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	110	110	0	0	0	0	0	0

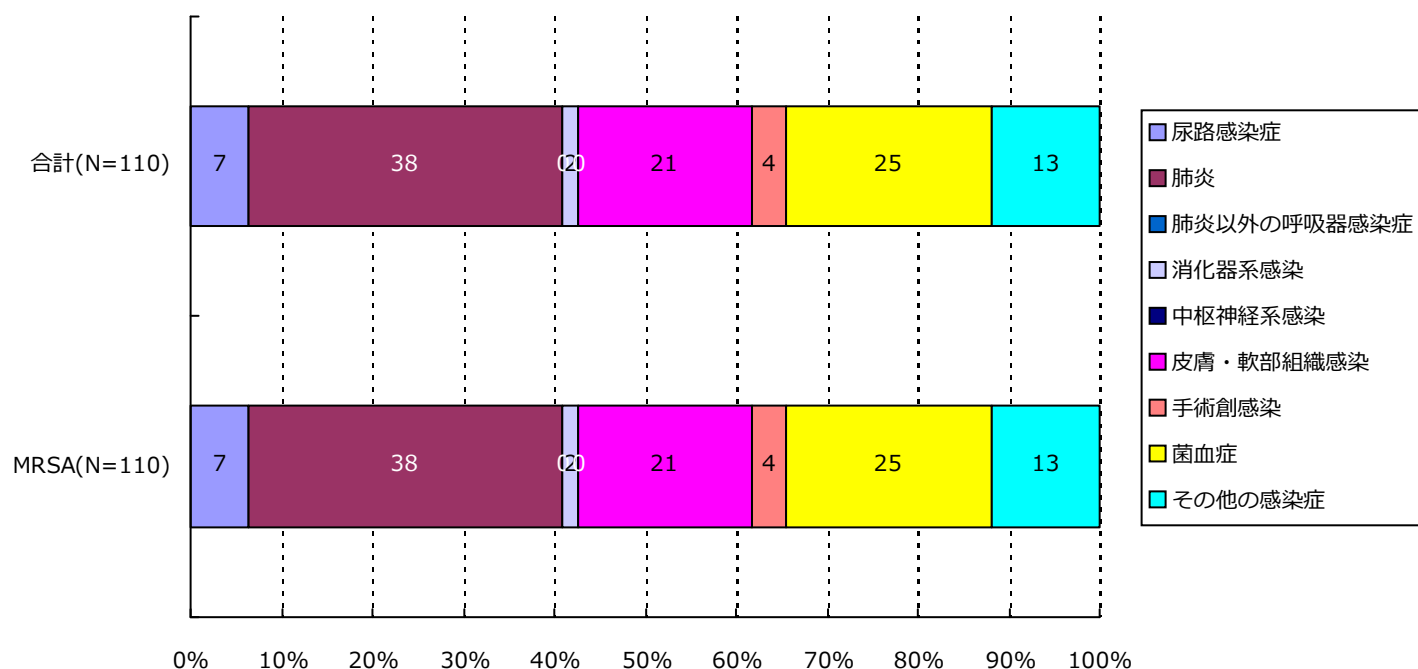
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	43(39.1%)	43(39.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	10(9.1%)	10(9.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	23(20.9%)	23(20.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	34(30.9%)	34(30.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	110	110	0	0	0	0	0	0

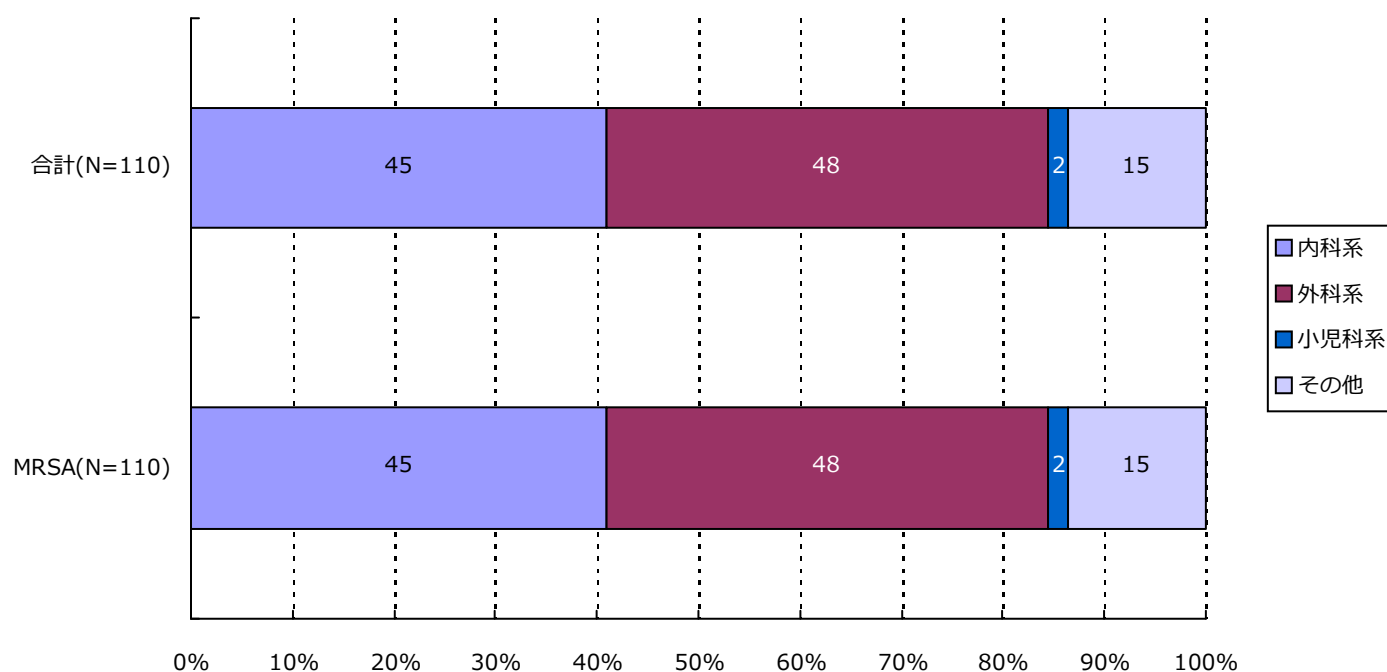
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	7(6.4%)	7(6.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	38(34.5%)	38(34.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	2(1.8%)	2(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	21(19.1%)	21(19.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	4(3.6%)	4(3.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	25(22.7%)	25(22.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	13(11.8%)	13(11.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	110	110	0	0	0	0	0	0

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	45(40.9%)	45(40.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	48(43.6%)	48(43.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
小児科系	2(1.8%)	2(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	15(13.6%)	15(13.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	110	110	0	0	0	0	0	0

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

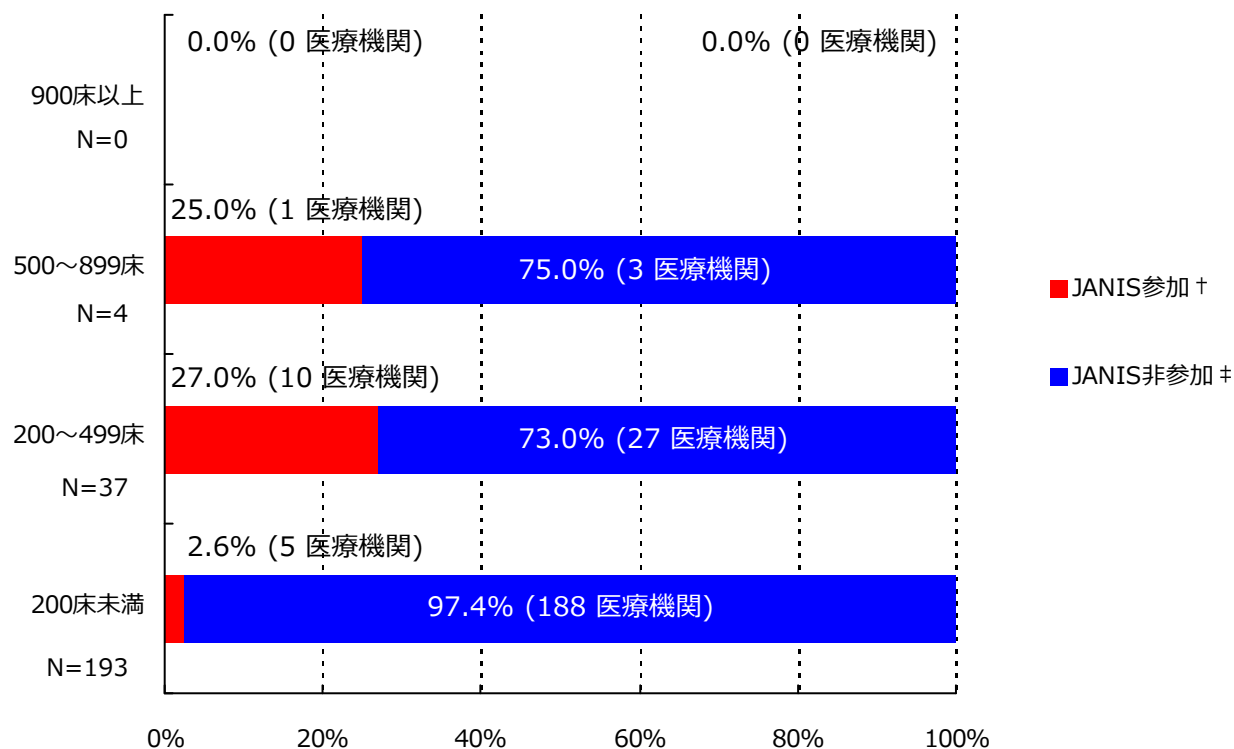
* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

(鹿児島県)
公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(16医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	4	1 (25%)
200～499床	37	10 (27%)
200床未満	193	5 (2.6%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	234	16 (6.8%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(鹿児島県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	15	77,152	8	253	3.28%	0.64 2.26 37.80
2021年	15	76,564	10	209	2.73%	0.00 1.57 26.15
2022年	16	77,417	10	224	2.89%	0.00 2.47 14.89

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	15	77,152	0	12	0.16%	0.00 0.00 0.88
2021年	15	76,564	0	11	0.14%	0.00 0.00 1.14
2022年	16	77,417	0	5	0.06%	0.00 0.00 0.54

(鹿児島県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	15	77,152	0	7	0.09%	0.00 0.00 4.49
2021年	15	76,564	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.11
2022年	16	77,417	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.14

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	15	77,152	0	10	0.13%	0.00 0.00 0.99
2021年	15	76,564	0	13	0.17%	0.00 0.00 0.84
2022年	16	77,417	0	2	0.03%	0.00 0.00 0.15

(鹿児島県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

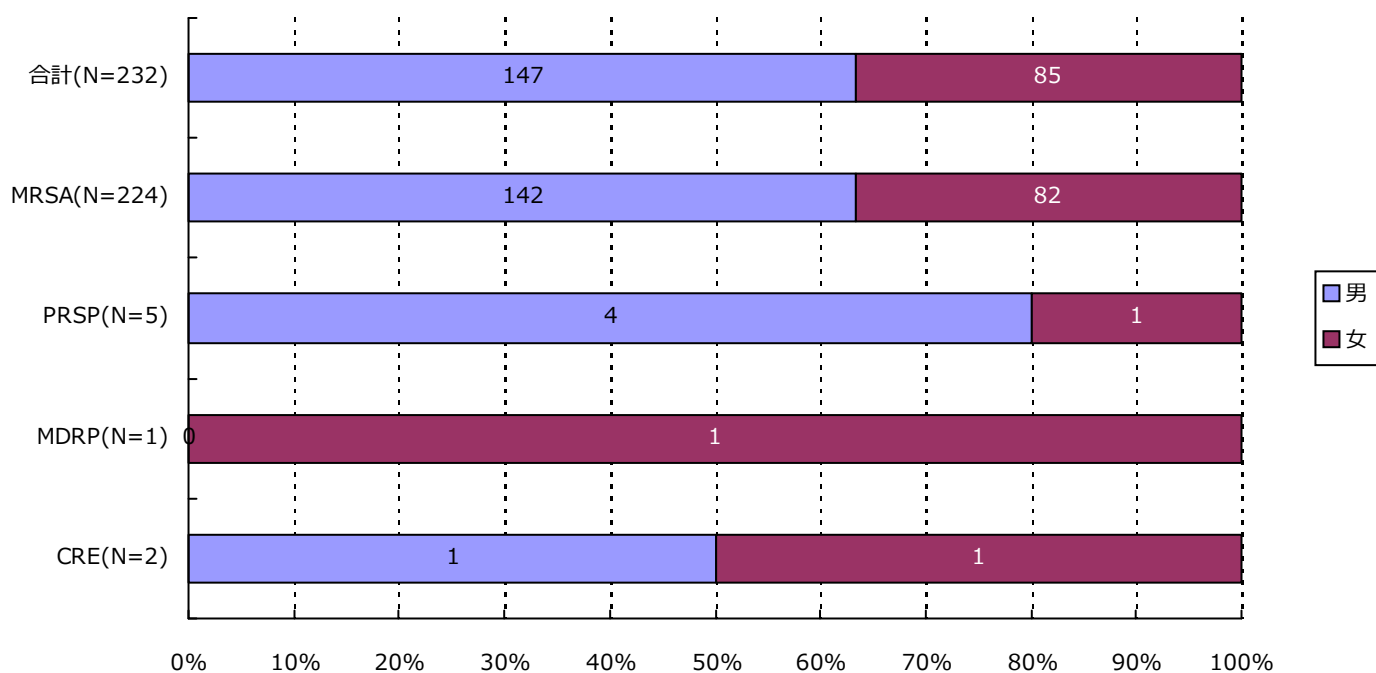
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

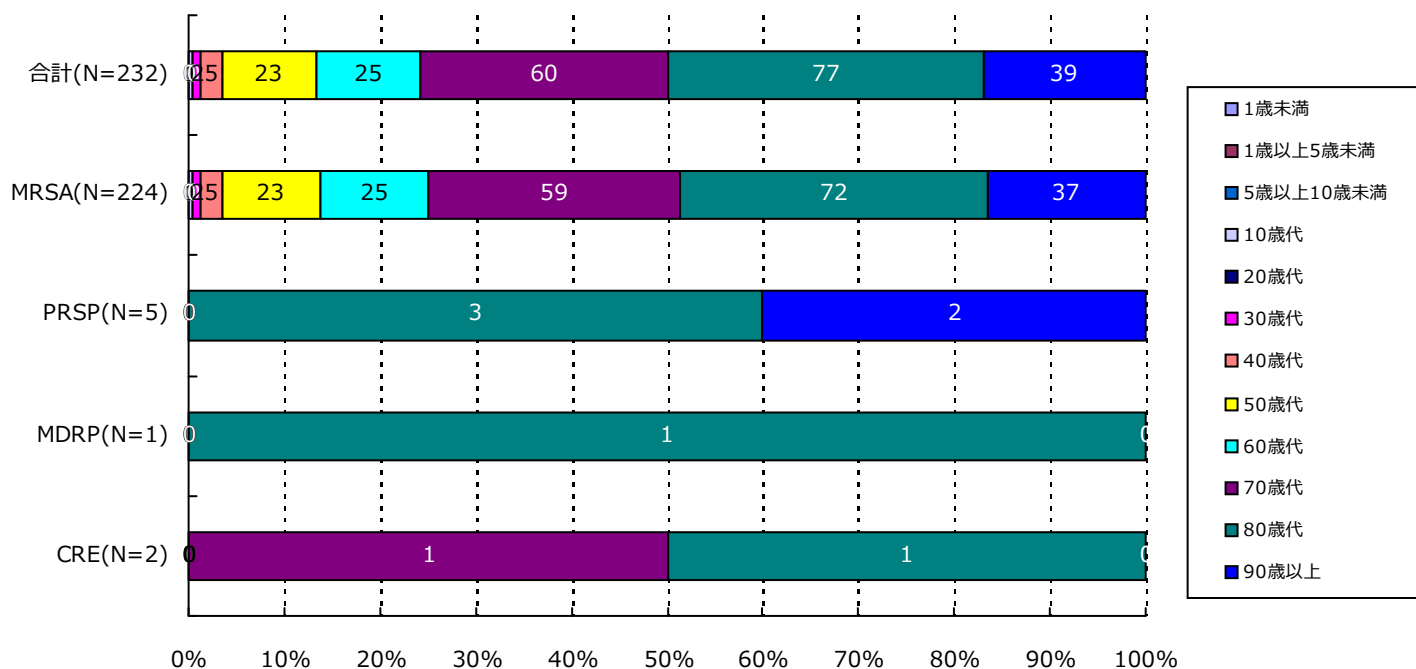
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



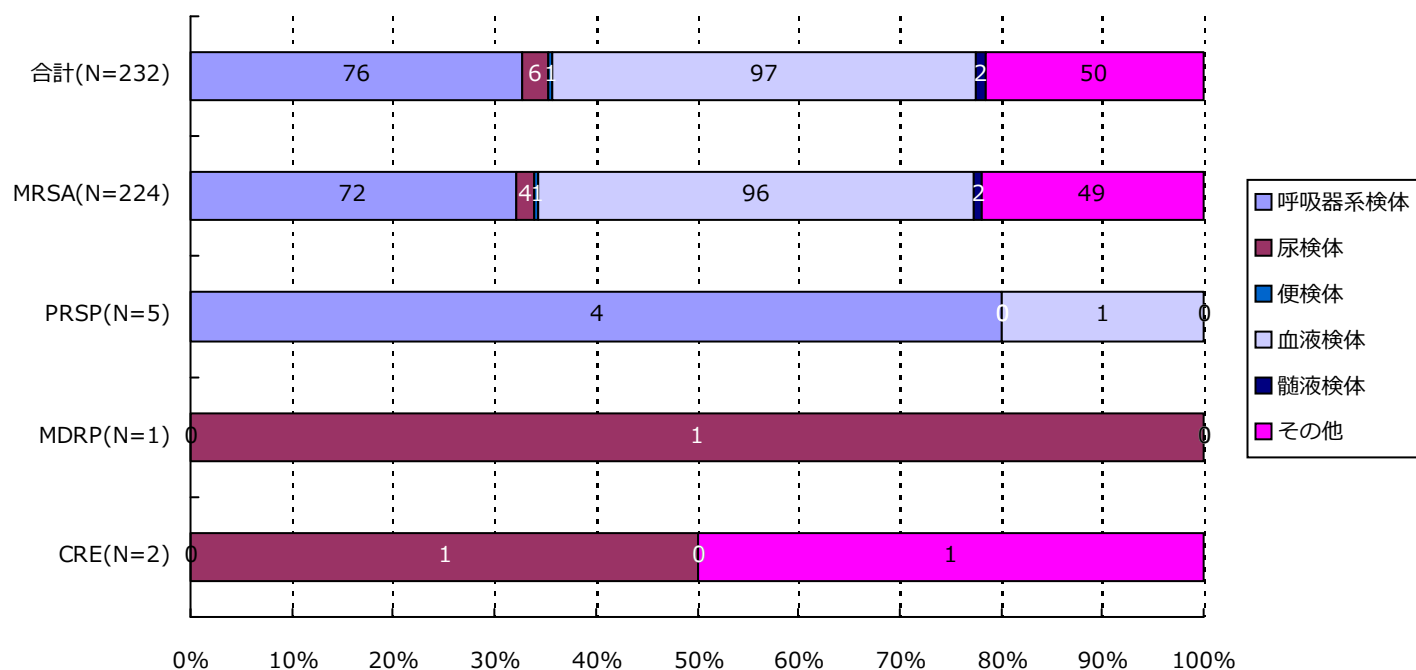
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	147 (63.4%)	142 (63.4%)	0 (-)	0 (-)	4 (80.0%)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)
女	85 (36.6%)	82 (36.6%)	0 (-)	0 (-)	1 (20.0%)	1 (100.0%)	0 (-)	1 (50.0%)
合計	232	224	0	0	5	1	0	2

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(0.9%)	2(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	5(2.2%)	5(2.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	23(9.9%)	23(10.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	25(10.8%)	25(11.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	60(25.9%)	59(26.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
80歳代	77(33.2%)	72(32.1%)	0(-)	0(-)	3(60.0%)	1(100.0%)	0(-)	1(50.0%)
90歳以上	39(16.8%)	37(16.5%)	0(-)	0(-)	2(40.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	232	224	0	0	5	1	0	2

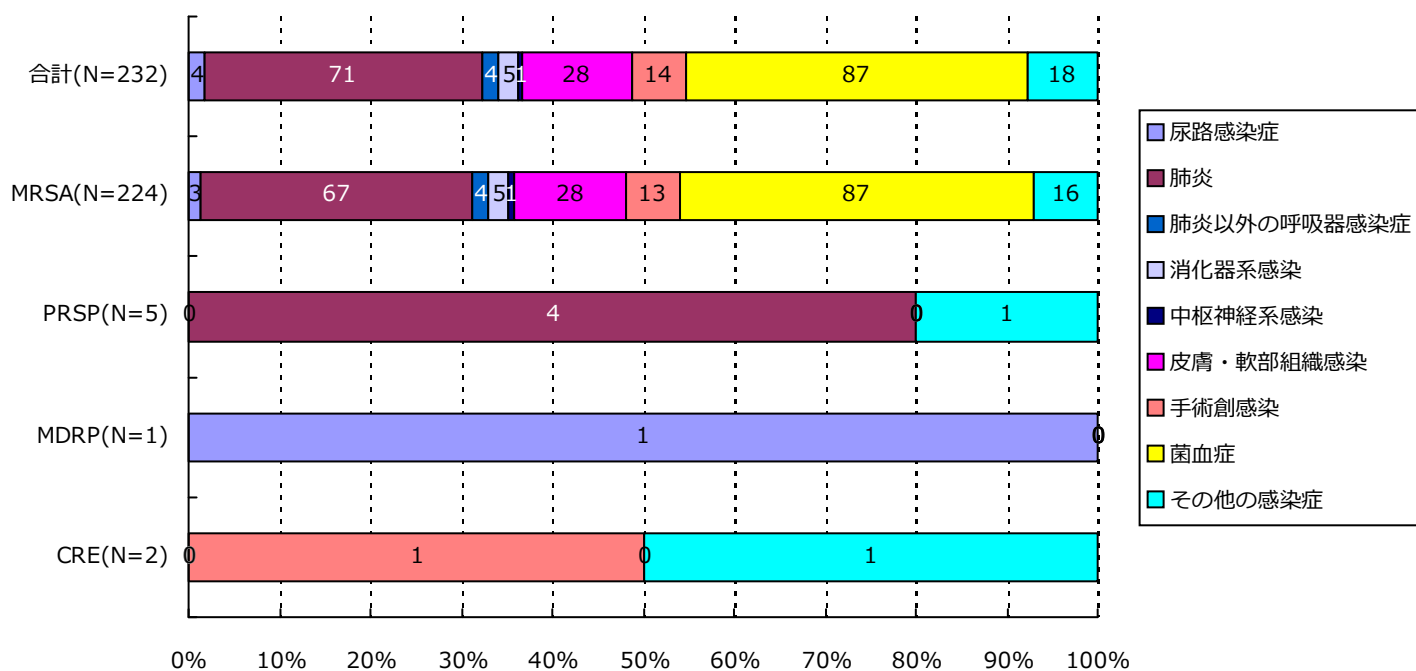
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	76(32.8%)	72(32.1%)	0(-)	0(-)	4(80.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	6(2.6%)	4(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(50.0%)
便検体	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	97(41.8%)	96(42.9%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	2(0.9%)	2(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	50(21.6%)	49(21.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
合計	232	224	0	0	5	1	0	2

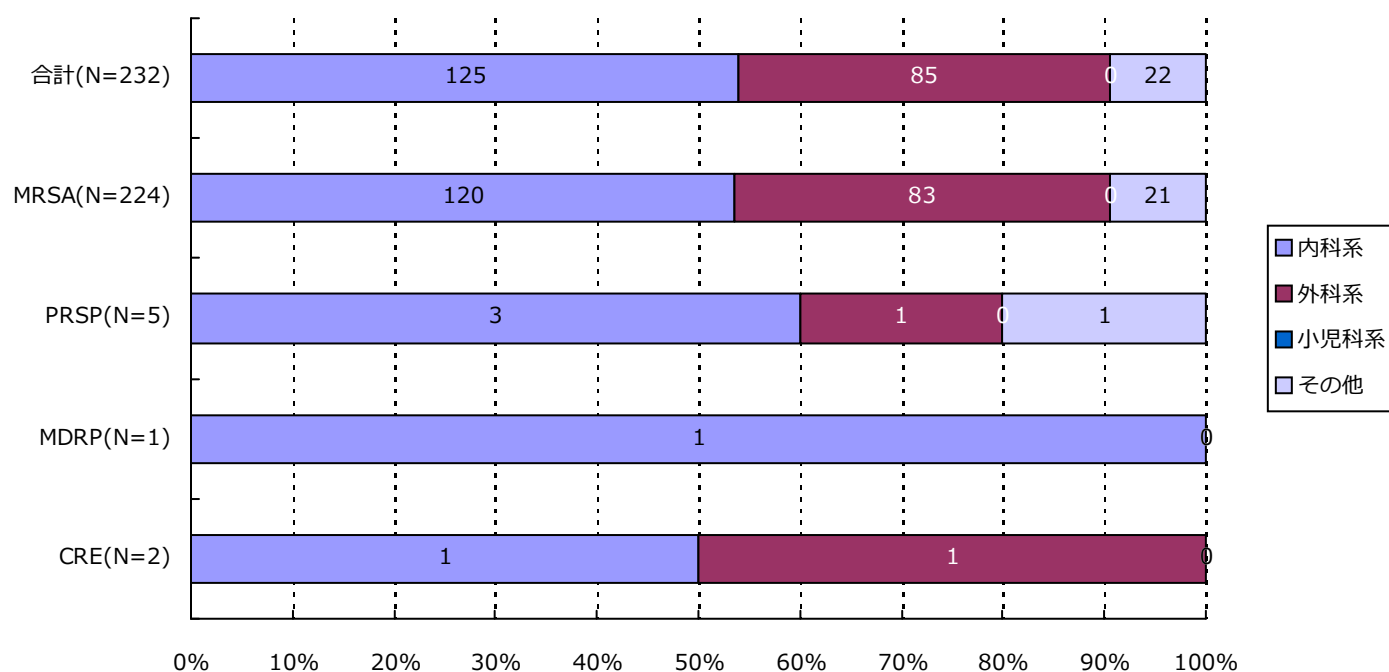
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	4(1.7%)	3(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
肺炎	71(30.6%)	67(29.9%)	0(-)	0(-)	4(80.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	4(1.7%)	4(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	5(2.2%)	5(2.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	28(12.1%)	28(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	14(6.0%)	13(5.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
菌血症	87(37.5%)	87(38.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	18(7.8%)	16(7.1%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
合計	232	224	0	0	5	1	0	2

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	125(53.9%)	120(53.6%)	0(-)	0(-)	3(60.0%)	1(100.0%)	0(-)	1(50.0%)
外科系	85(36.6%)	83(37.1%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
小児科系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	22(9.5%)	21(9.4%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	232	224	0	0	5	1	0	2

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL†かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

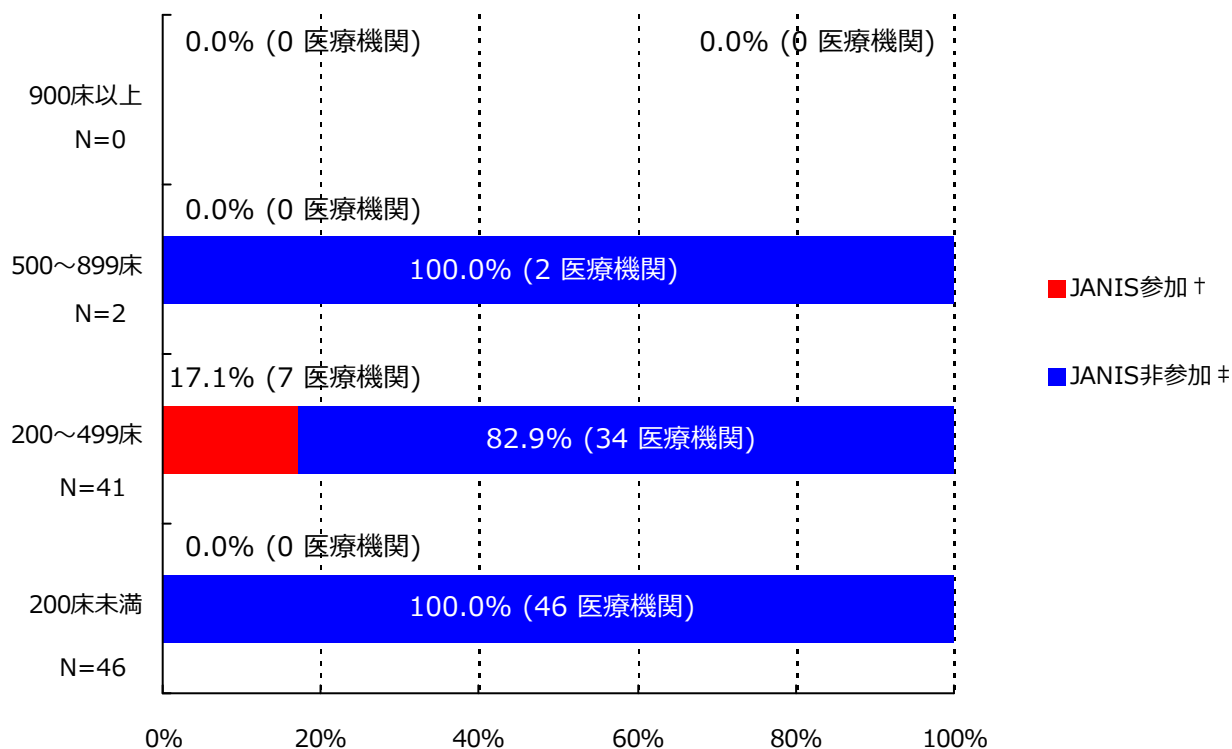
* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

(沖縄県)
公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(7医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	2	0 (0%)
200～499床	41	7 (17.1%)
200床未満	46	0 (0%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	89	7 (7.9%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(沖縄県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	5	33,757	0	131	3.88%	1.64 3.79 7.40
2021年	6	34,258	0	113	3.30%	2.38 3.08 5.42
2022年	7	40,889	0	95	2.32%	0.24 2.33 14.60

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	5	33,757	0	13	0.39%	0.00 0.11 1.17
2021年	6	34,258	0	1	0.03%	0.00 0.00 0.14
2022年	7	40,889	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.16

(沖縄県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2021年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2022年	7	40,889	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.16

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	5	33,757	0	6	0.18%	0.00 0.00 0.65
2021年	6	34,258	0	3	0.09%	0.00 0.00 0.32
2022年	7	40,889	0	2	0.05%	0.00 0.00 1.04

(沖縄県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

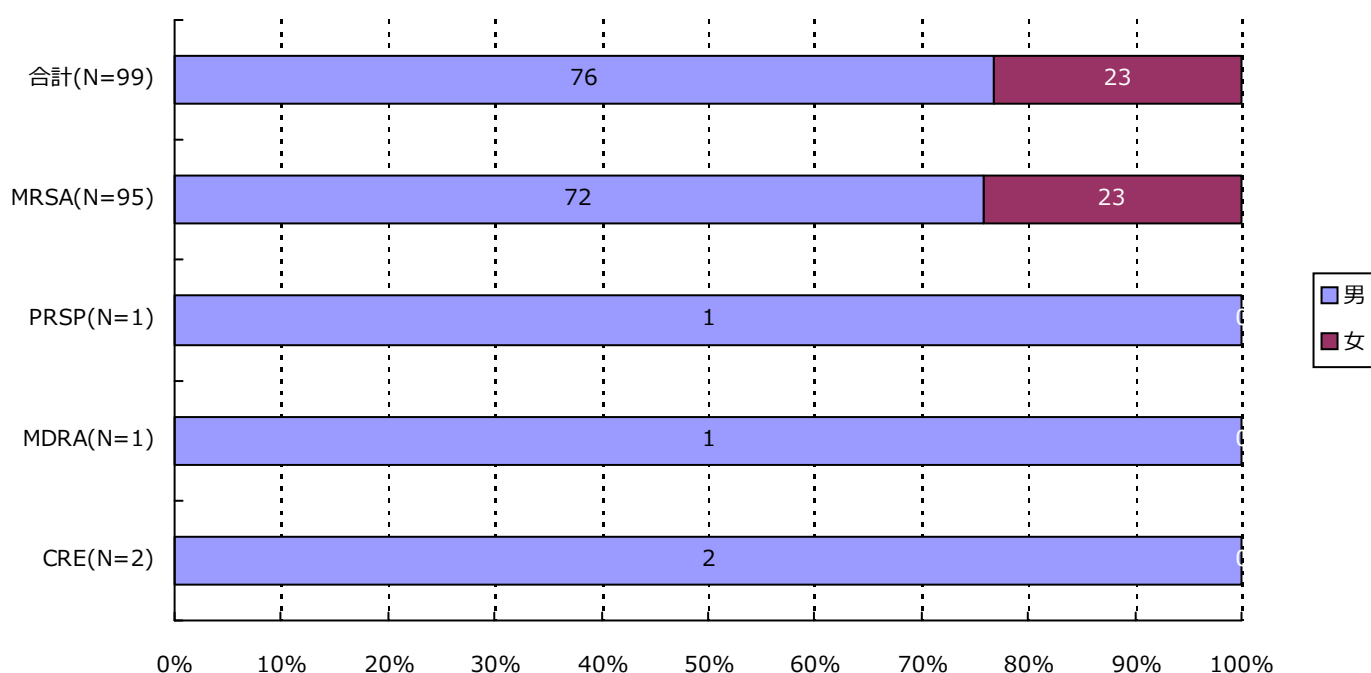
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	76 (76.8%)	72 (75.8%)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0%)	0 (-)	1 (100.0%)	2 (100.0%)
女	23 (23.2%)	23 (24.2%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
合計	99	95	0	0	1	0	1	2

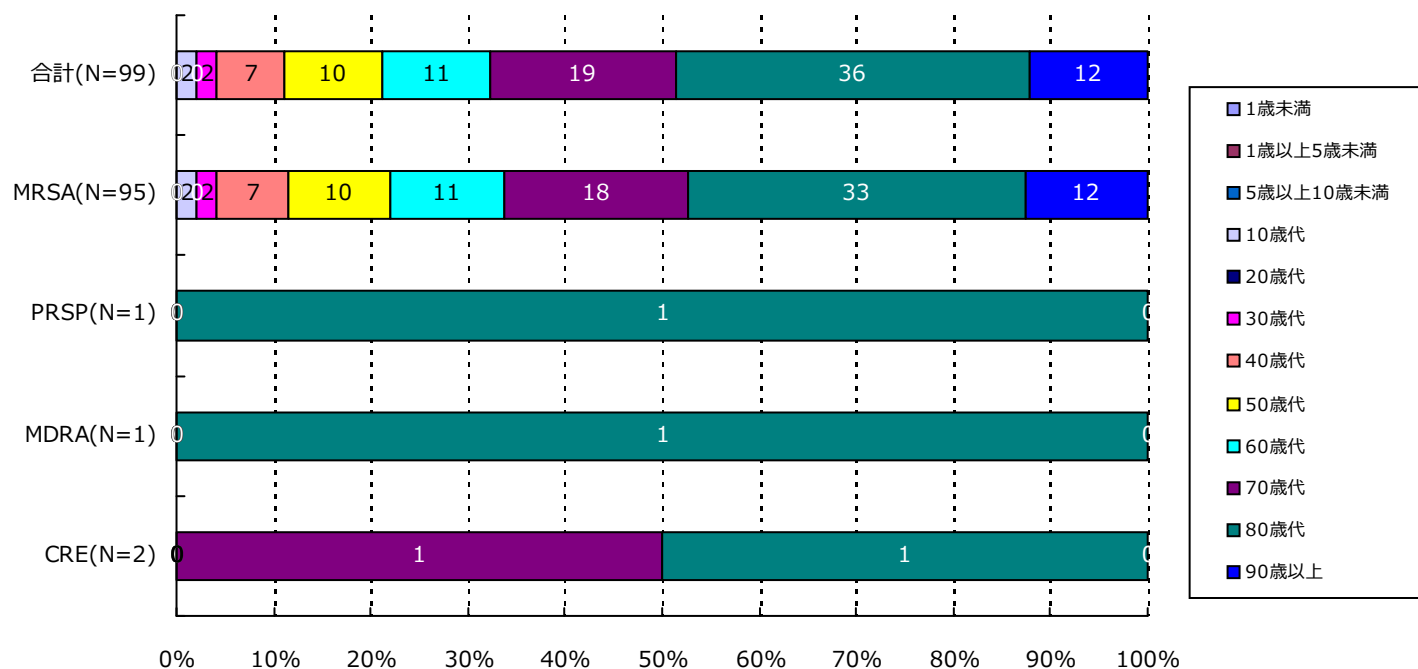
(沖縄県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

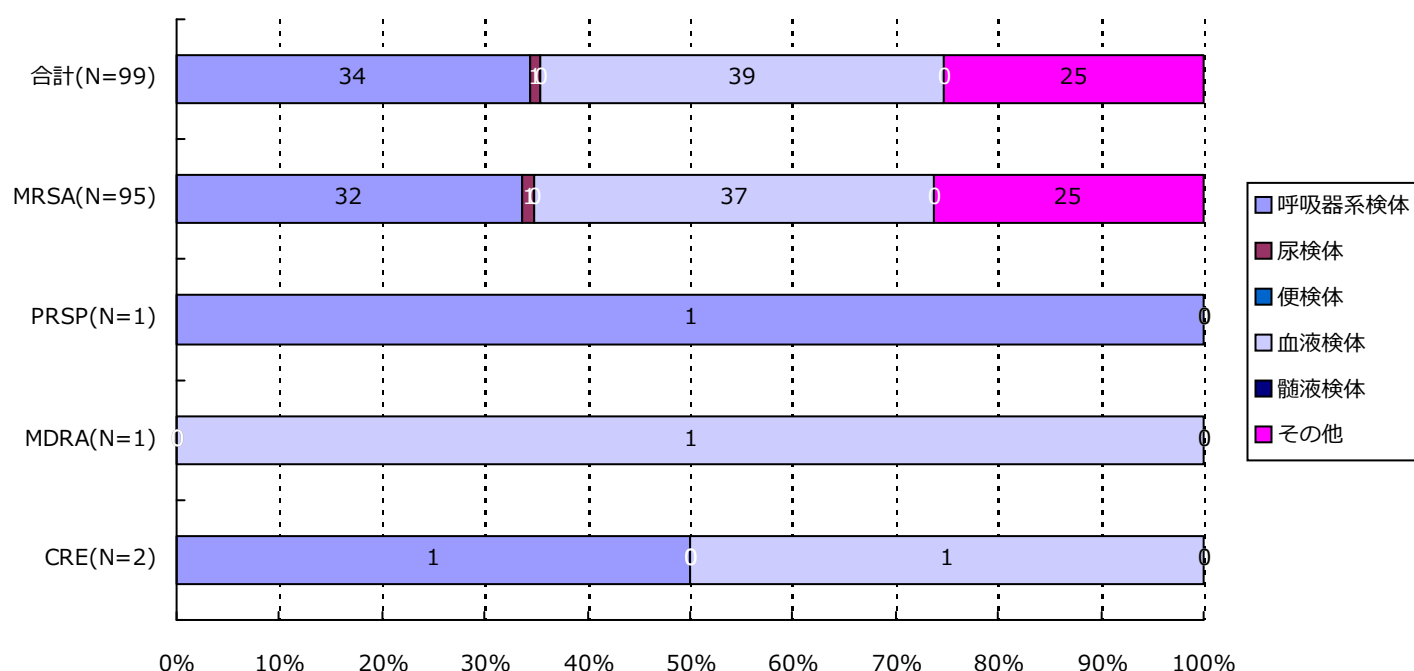


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	2(2.0%)	2(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(2.0%)	2(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	7(7.1%)	7(7.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	10(10.1%)	10(10.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	11(11.1%)	11(11.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	19(19.2%)	18(18.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
80歳代	36(36.4%)	33(34.7%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(100.0%)	1(50.0%)
90歳以上	12(12.1%)	12(12.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	99	95	0	0	1	0	1	2

5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	34(34.3%)	32(33.7%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
尿検体	1(1.0%)	1(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	39(39.4%)	37(38.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	1(50.0%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	25(25.3%)	25(26.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	99	95	0	0	1	0	1	2

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

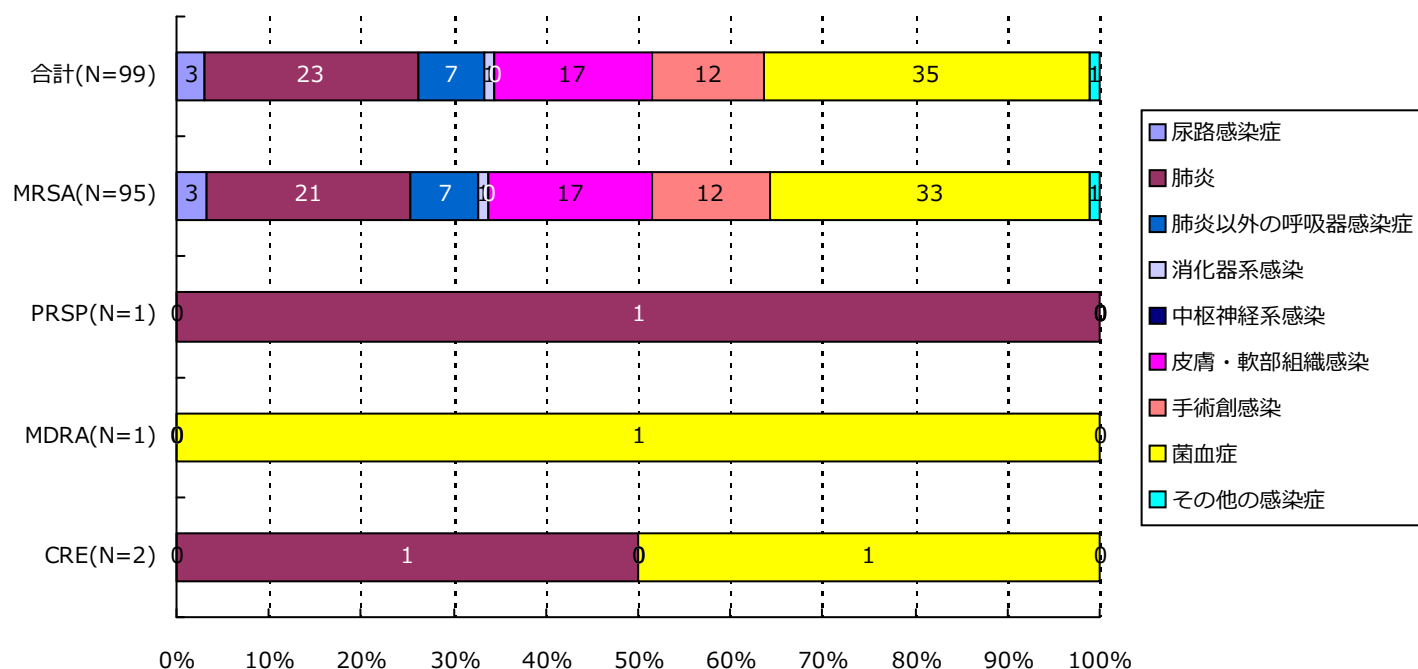
(沖縄県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

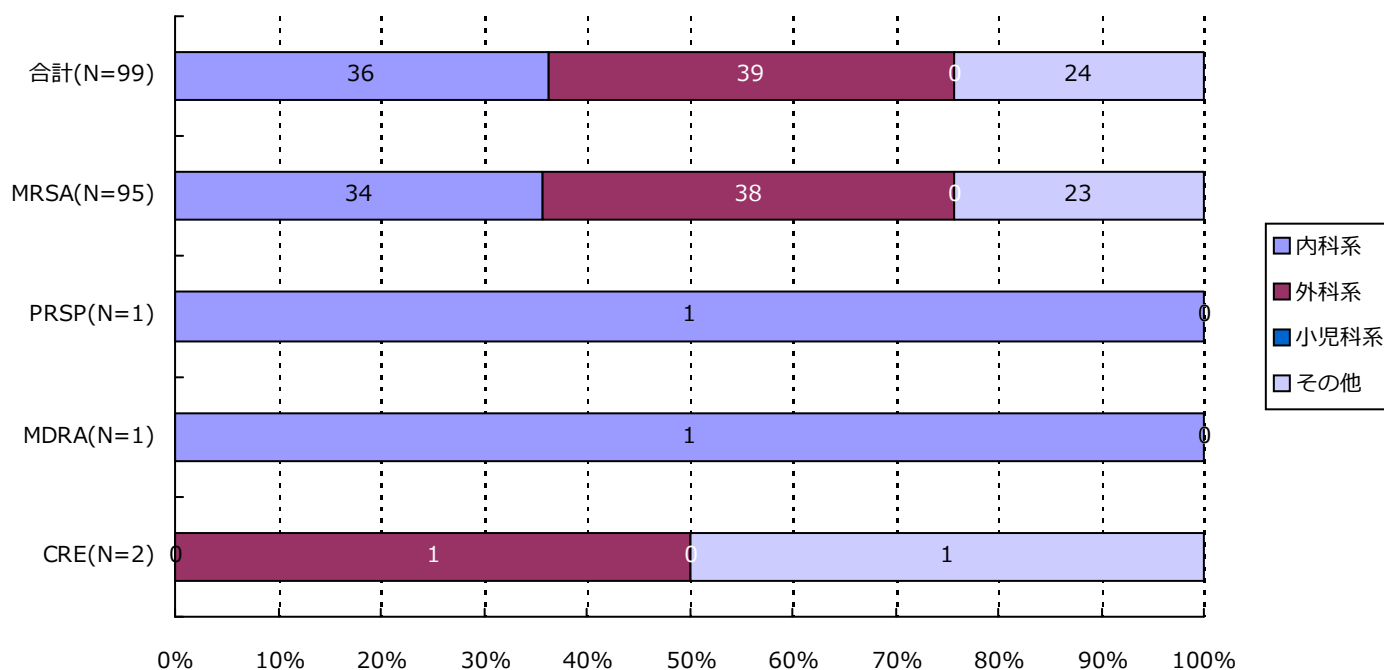


6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	3(3.0%)	3(3.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	23(23.2%)	21(22.1%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
肺炎以外	7(7.1%)	7(7.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	1(1.0%)	1(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	17(17.2%)	17(17.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	12(12.1%)	12(12.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	35(35.4%)	33(34.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	1(50.0%)
その他	1(1.0%)	1(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	99	95	0	0	1	0	1	2

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	36(36.4%)	34(35.8%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)
外科系	39(39.4%)	38(40.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
小児科系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	24(24.2%)	23(24.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
合計	99	95	0	0	1	0	1	2

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	老人内科		眼科
	心療内科		耳鼻咽喉科
	その他		性病科
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
リハビリテーション科		小児科	
麻酔科		新生児科	
その他		新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠